

『しあわせな地域づくりのための市民アンケート』の概要

1 調査の目的

地域において誰もが協力して支え合う仕組みづくりを進めるために「小樽市地域福祉計画」を策定するに当たり、地域福祉に対する市民の意識などについて基礎データを得ることを目的としています。

2 調査項目

- (1) 回答者の属性
- (2) 地域への関わりについて
- (3) 地域での支え合いについて
- (4) 地域での困りごとを解決するための相談について
- (5) しあわせな地域づくりについて

3 対象者

18歳以上の市民（無作為抽出） 2,000名

4 調査方法

調査票の配布、回収ともに郵送方式

5 調査期間

令和元年9月13日から令和元年9月30日まで

6 回収件数及び回収率

683件（34.2%）

- 図中のNとは（N=Number of cases）のことであり、回答者数を示しています。
- 回答の構成比は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、全ての選択肢の合計が100.0%にならない場合があります。

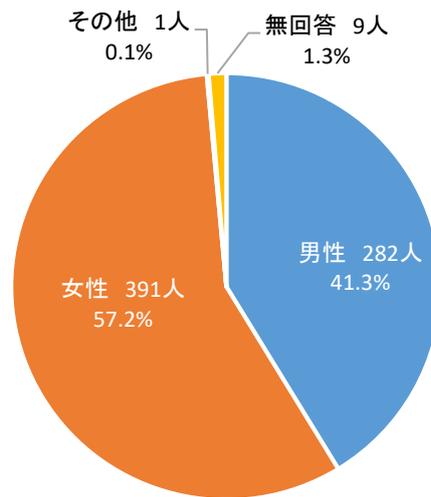


しあわせな地域づくりのための市民アンケート調査結果

(1) 回答者の属性

①性別 【単一回答】

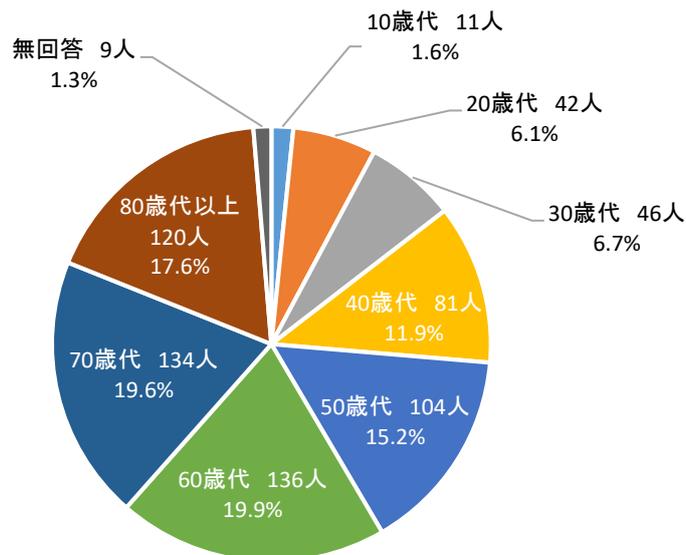
性別については、「女性」が391人(57.2%)と「男性」282人(41.3%)より多くなっています。



(N=683)

②年齢 【単一回答】

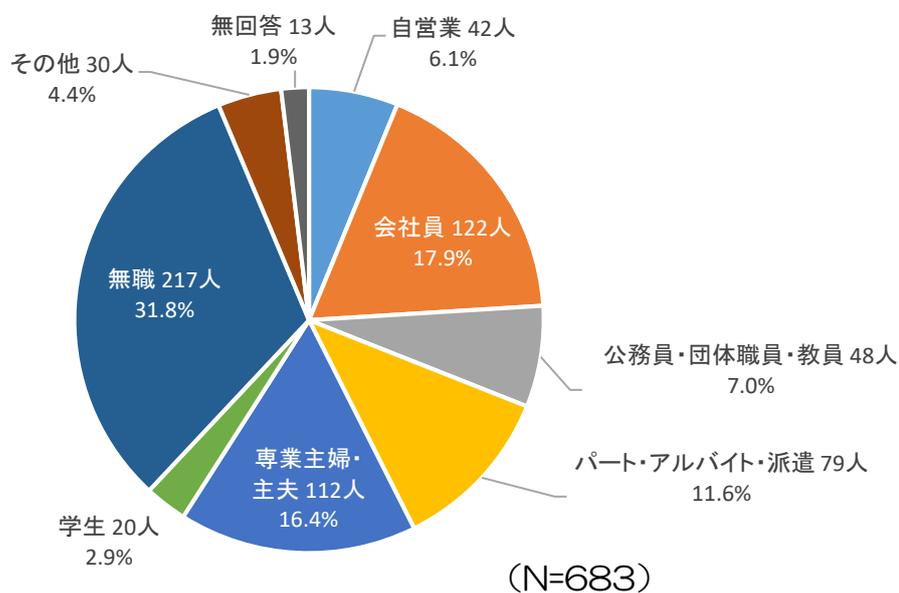
年齢については、「60歳代」が19.9%と最も多く、「70歳代」が19.6%で次いでおり、『60歳以上』が57.1%と半数以上を占めています。



(N=683)

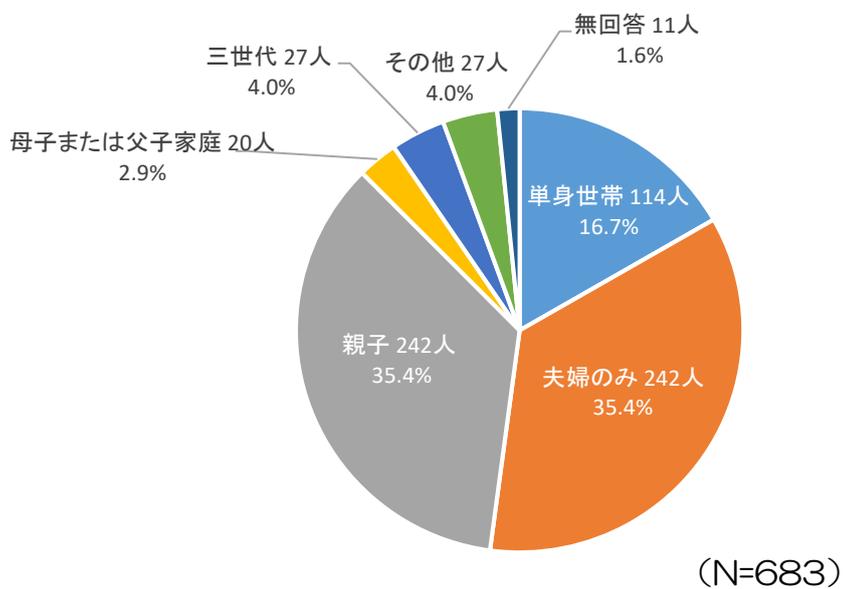
③職業 【単一回答】

職業については、「無職」が 31.8%で最も多く、「会社員」が 17.9%で次いでいます。



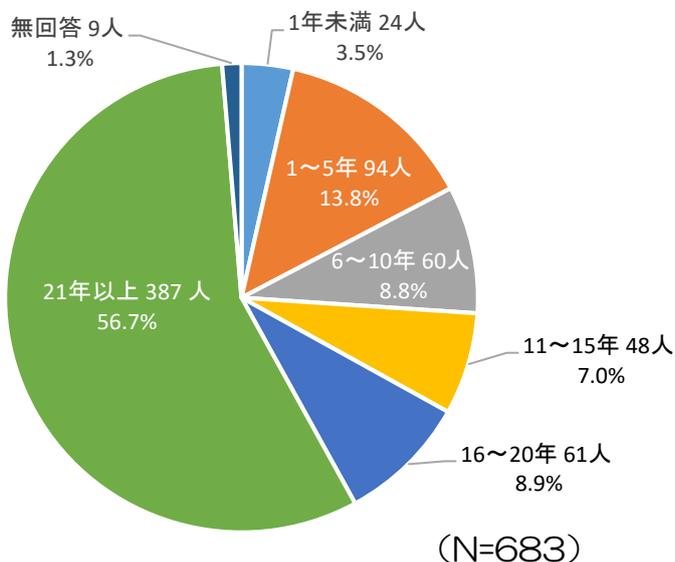
④世帯構成 【単一回答】

世帯構成については、「親子」及び「夫婦のみ」がともに 35.4%と最も多く、「単身世帯」が 16.7%で次いでいます。



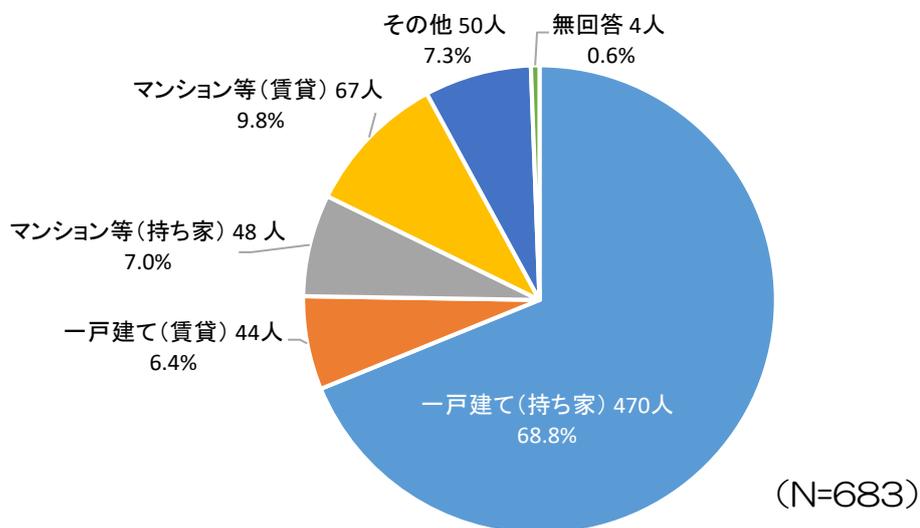
⑤居住年数 【単一回答】

現住所における居住年数については、「21年以上」が56.7%で最も多く、「1～5年」が13.8%で次いでいます。『11年以上』が7割以上を占めています。



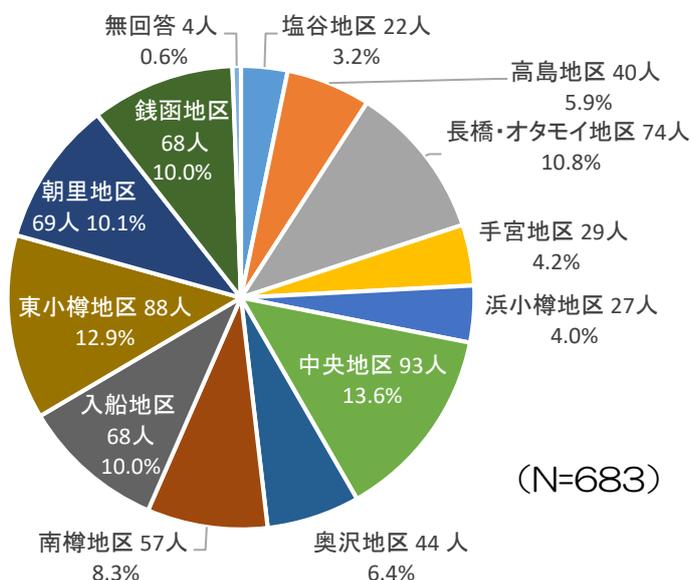
⑥居住形態 【単一回答】

居住形態については、「一戸建て（持ち家）」が68.8%で最も多くなっています。



⑦居住地区 【単一回答】

居住地区については、「中央地区」が13.6%と最も多く、以下「東小樽地区」12.9%、「長橋・オタモイ地区」10.8%などとなっています。



北西部	【塩谷地区】	忍路、塩谷、桃内、蘭島
	【高島地区】	赤岩、祝津、高島
	【長橋・オタモイ地区】	オタモイ、幸、旭町、長橋
中部	【手宮地区】	手宮、錦町、豊川町、石山町、末広町、梅ヶ枝町、清水町
	【浜小樽地区】	港町、堺町、東雲町、相生町、山田町、色内
	【中央地区】	花園、稲穂、富岡、緑
南部	【奥沢地区】	若松、奥沢、天神、真栄
	【南樽地区】	住吉町、信香町、新富町、築港、勝納町、若竹町、潮見台
	【入船地区】	有幌町、住ノ江、入船、松ヶ枝、最上、天狗山
東南部	【東小樽地区】	桜、船浜町、望洋台
	【朝里地区】	朝里、朝里川温泉、新光、新光町
	【銭函地区】	桂岡町、銭函、張碓町、春香町、星野町、見晴町

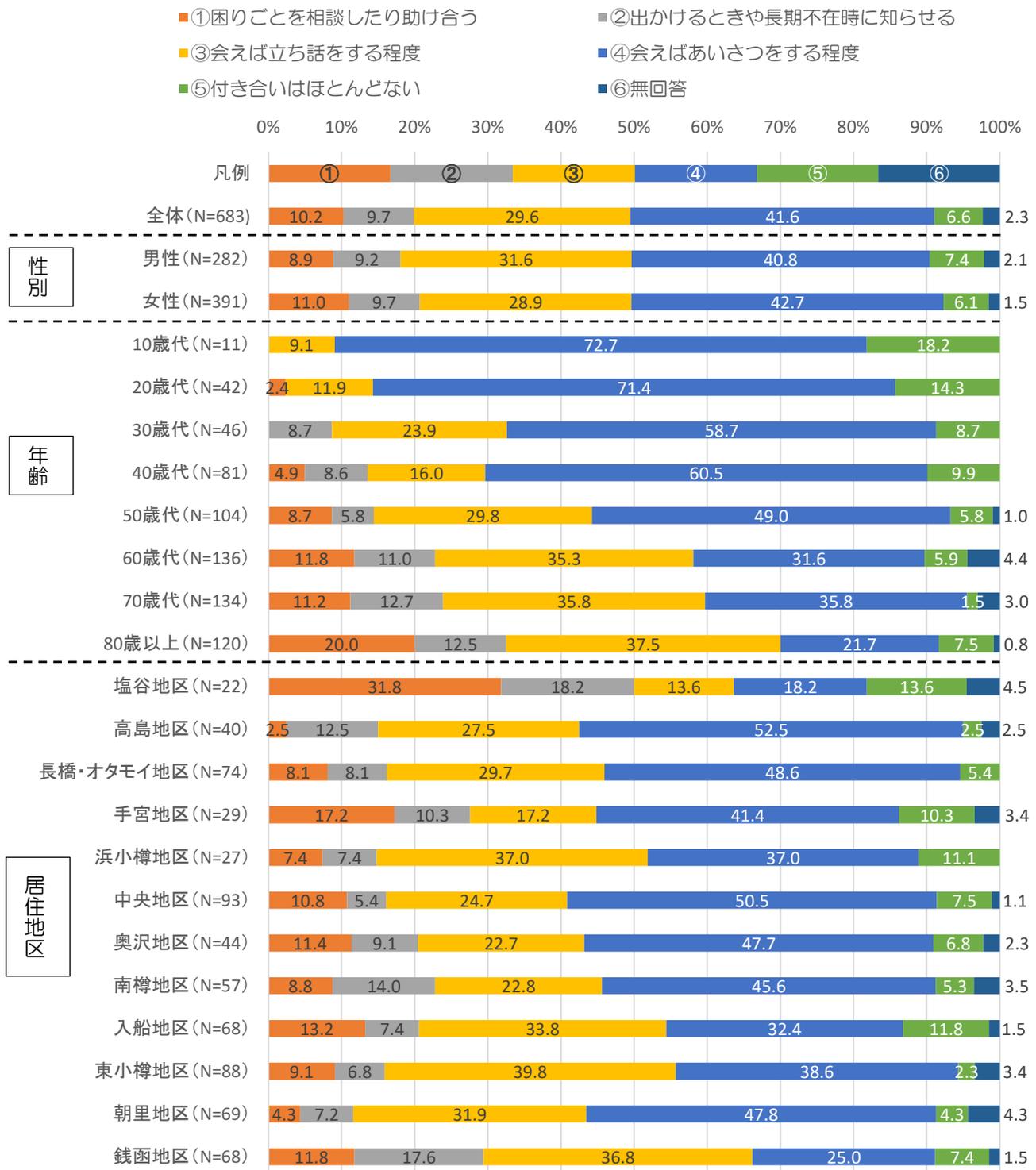
※小樽市介護保険事業計画における日常生活圏域（4）をベースに、小樽市総合計画における居住地区区分（9）、小樽市民生児童委員協議会の地区区分（16）を勘案し、市内を12地区に区分しました。

(2) 地域への関わりについて

①ご近所付き合いの程度 【単一回答】

ご近所付き合いの程度については、「会えばあいさつをする程度」が41.6%で最も多く、「会えば立ち話をする程度」が29.6%で次いでいます。

男性より女性、また、若年層より高年層の方が、より積極的なご近所付き合いが見られる傾向にあります。地区別に見ると、塩谷地区で「困りごとを相談したり助け合う」が他地区に比べ突出して多くなっています。

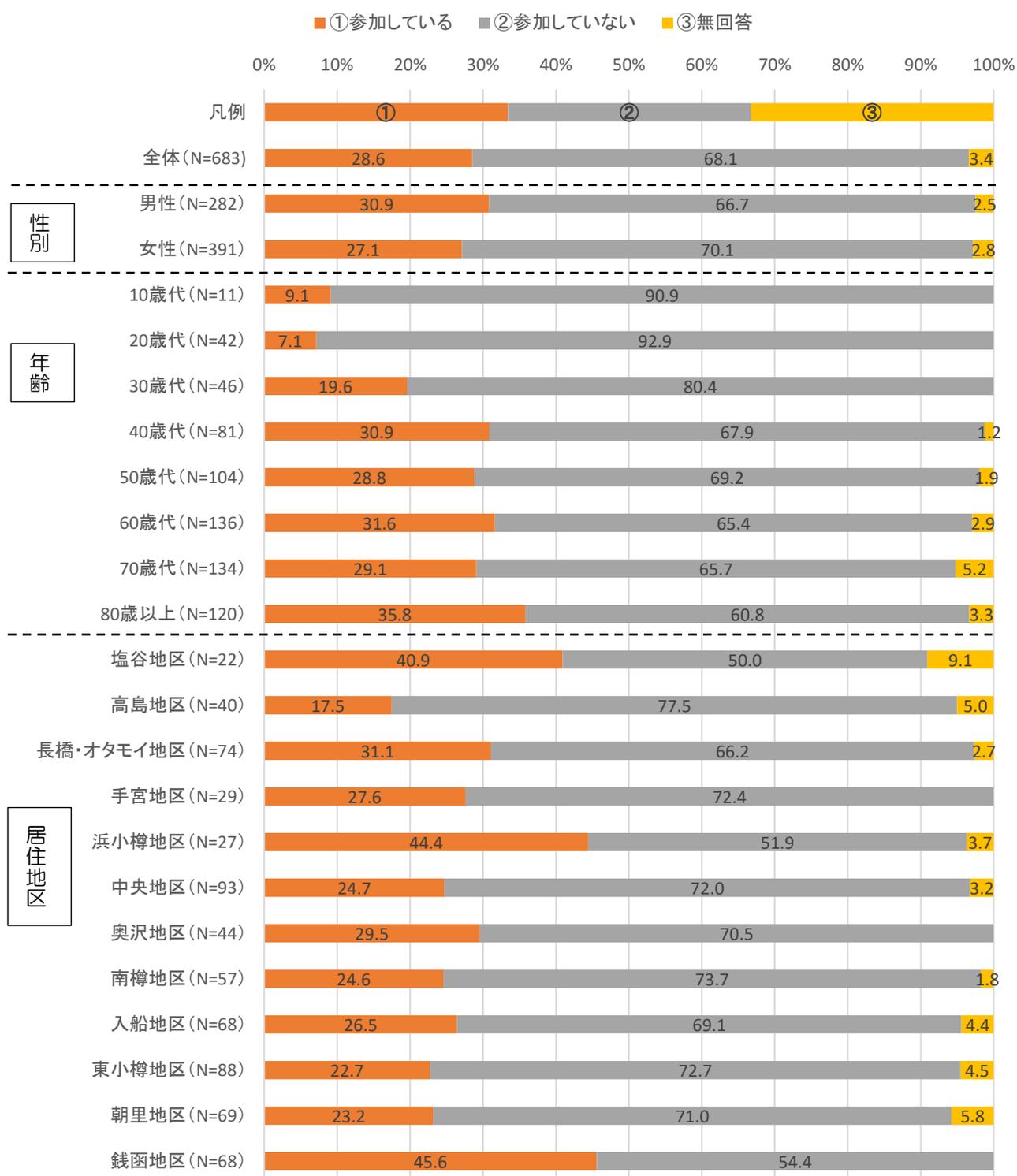


②地域活動への参加の有無 【単一回答】

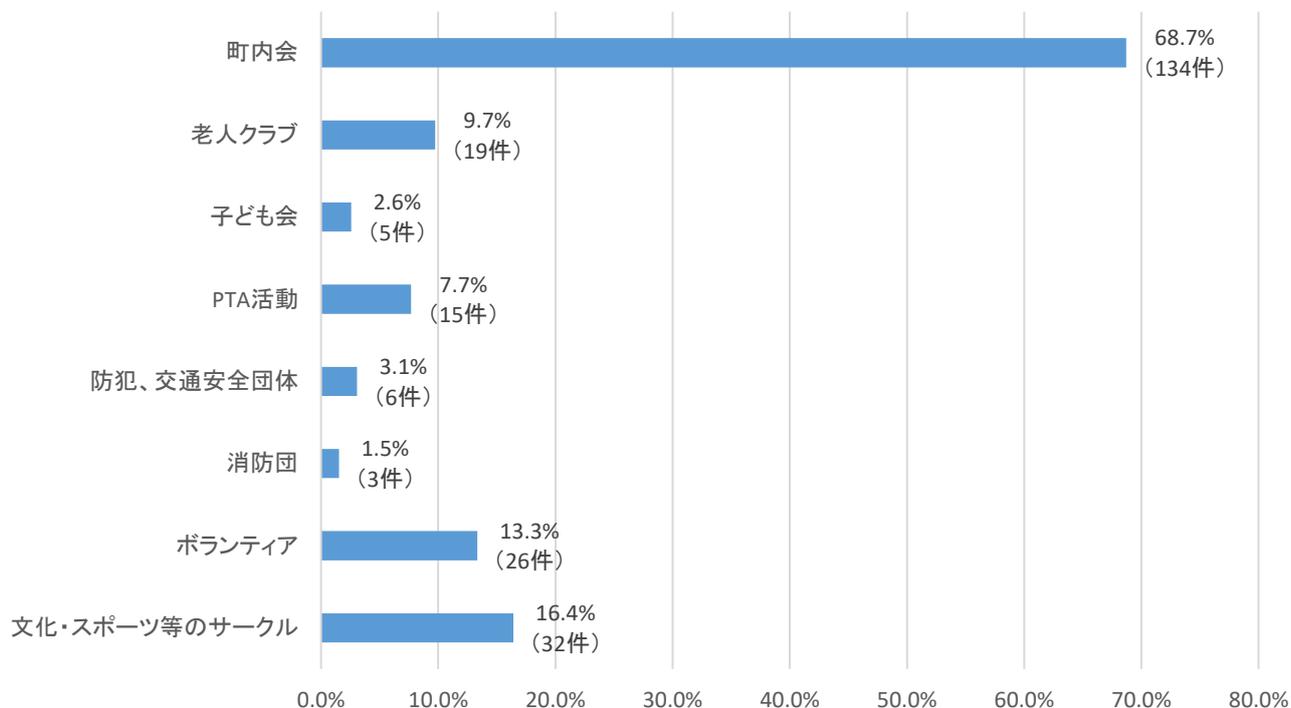
地域活動への参加の有無については、「参加していない」が68.1%を占めています。

女性より男性の方が「参加している」割合はやや高く、若年層ほど「参加していない」との回答が多くなっています。

地区別に見ると、「銭函地区」「浜小樽地区」「塩谷地区」については、「参加している」割合が4割を超えています。



③活動内容（地域活動へ参加している方のみ回答） 【複数回答～当てはまるものすべて】
 地域活動へ参加している方については、「町内会」が68.7%と最も多く、「文化・スポーツ等のサークル」が16.4%で次いでいます。



性別に見ると、男女ともに「町内会」が最も多いものの、男性は女性より「老人クラブ」が多く、女性は男性より「PTA活動」「文化・スポーツ等のサークル」が多くなっています。

年齢別に見ると、40歳代以降から様々な地域活動へ参加する傾向が見られ、特に「町内会」は50歳代以降の年代全てで7割程度を占めています。

地区別に見ると、どの地区においても「町内会」が最も多く5～8割程度となっています。また、「入船地区」では「文化・スポーツ等のサークル」もやや多くなっています。



○活動内容（性別・年齢別・居住地区別）

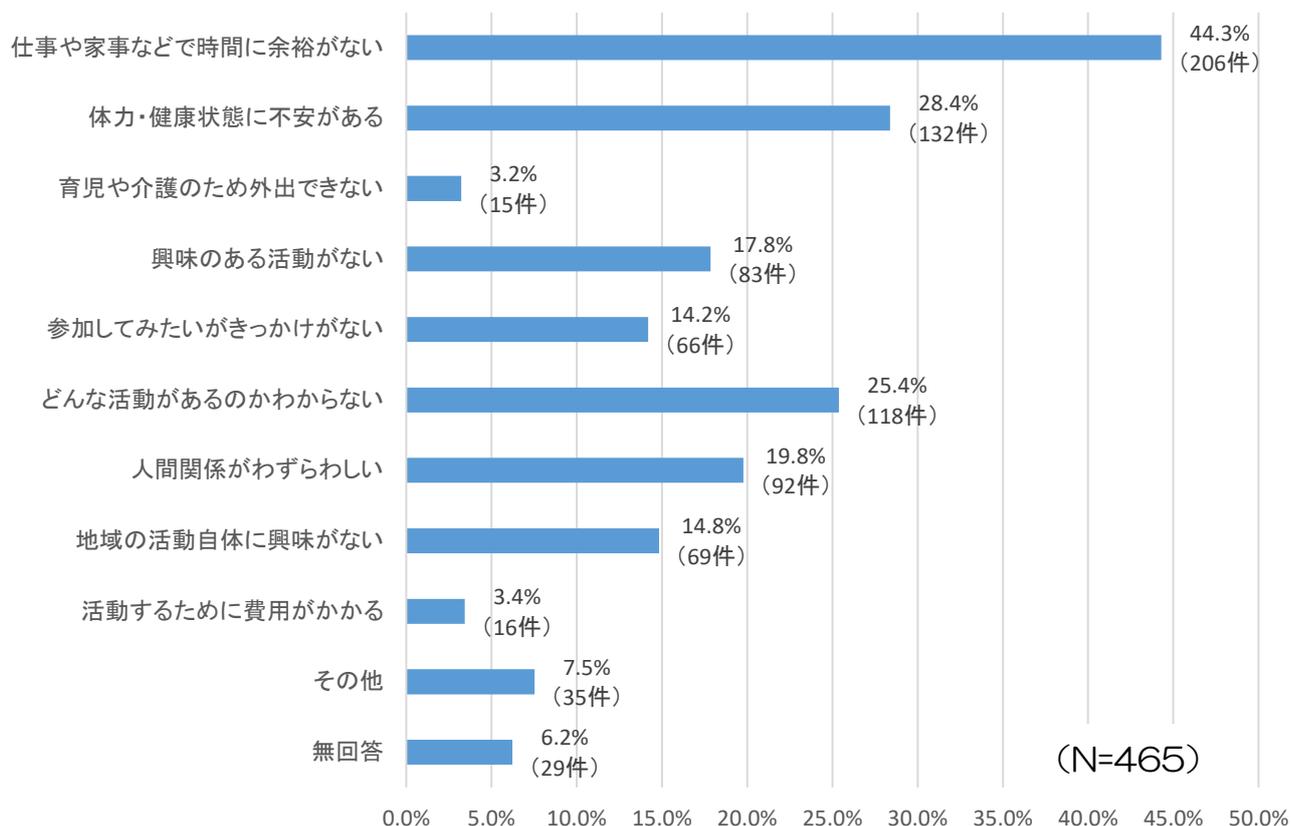
		調査数 (上段:実数) (下段:割合)	活動内容							
			町内会	老人クラブ	子ども会	P T A 活動	防犯・交通安全 団体	消防団	ボランティア	文化・スポーツ等の サークル
全体		195 100.0	134 68.7	19 9.7	5 2.6	15 7.7	6 3.1	3 1.5	26 13.3	32 16.4
性別	男性	87 100.0	63 72.4	12 13.8	1 1.1	4 4.6	4 4.6	3 3.4	11 12.6	10 11.5
	女性	106 100.0	70 66.0	6 5.7	4 3.8	11 10.4	2 1.9		15 14.2	21 19.8
年齢	10歳代	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0
	20歳代	3 100.0	1 33.3	- -	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -
	30歳代	9 100.0	6 66.7	- -	1 11.1	2 22.2	- -	- -	- -	1 11.1
	40歳代	25 100.0	13 52.0	- -	1 4.0	10 40.0	1 4.0	2 8.0	2 8.0	4 16.0
	50歳代	30 100.0	22 73.3	- -	- -	2 6.7	- -	- -	5 16.7	2 6.7
	60歳代	43 100.0	33 76.7	1 2.3	1 2.3	- -	1 2.3	- -	8 18.6	5 11.6
	70歳代	39 100.0	28 71.8	4 10.3	- -	- -	1 2.6	- -	7 17.9	14 35.9
	80歳以上	43 100.0	30 69.8	13 30.2	1 2.3	1 2.3	3 7.0	1 2.3	4 9.3	4 9.3
居住地区	塩谷地区	9 100.0	7 77.8	2 22.2	- -	- -	1 11.1	- -	3 33.3	- -
	高島地区	7 100.0	5 71.4	1 14.3	- -	1 14.3	- -	- -	- -	2 28.6
	長橋・オタモイ地区	23 100.0	16 69.6	3 13.0	- -	2 8.7	2 8.7	1 4.3	2 8.7	3 13.0
	手宮地区	8 100.0	7 87.5	1 12.5	- -	- -	- -	- -	1 12.5	1 12.5
	浜小樽地区	12 100.0	9 75.0	1 8.3	- -	1 8.3	- -	- -	2 16.7	2 16.7
	中央地区	23 100.0	15 65.2	3 13.0	2 8.7	3 13.0	1 4.3	- -	1 4.3	3 13.0
	奥沢地区	13 100.0	8 61.5	2 15.4	- -	- -	- -	- -	3 23.1	1 7.7
	南樽地区	14 100.0	7 50.0	1 7.1	1 7.1	1 7.1	- -	- -	3 21.4	3 21.4
	入船地区	18 100.0	10 55.6	1 5.6	- -	1 5.6	- -	- -	3 16.7	7 38.9
	東小樽地区	20 100.0	16 80.0	1 5.0	- -	2 10.0	- -	- -	1 5.0	4 20.0
	朝里地区	16 100.0	10 62.5	1 6.3	1 6.3	2 12.5	- -	1 6.3	3 18.8	1 6.3
	銭函地区	31 100.0	24 77.4	2 6.5	1 3.2	2 6.5	2 6.5	1 3.2	4 12.9	4 12.9

注) は各分類の中で最も高い項目を示す。

④不参加の理由（地域活動へ参加していない方のみ回答） 【複数回答～3つまで】

地域活動へ参加していない理由については、「仕事や家事などで時間に余裕がない」が44.3%で最も多く、「体力・健康状態に不安がある」（28.4%）、「どんな活動があるのかわからない」（25.4%）などが次いでいます。

「その他」については、「趣味を楽しんでいる」「プライバシーを守るため、身近な地域ではなく市外でボランティアをしている」などの回答があります。



性別に見ると各項目での大きな違いはありません。

年齢別に見ると、10歳代は「どんな活動があるのかわからない」、20歳代～60歳代では「仕事や家事などで時間に余裕がない」、70歳代以降になると「体力・健康状態に不安がある」が最も多くなっています。

居住地区別に見ると、「仕事や家事などで時間に余裕がない」が最も多くなっている地区がほとんどですが、浜小樽地区では「体力・健康状態に不安がある」「どんな活動があるのかわからない」、中央地区では「どんな活動があるのかわからない」が最も多くなっています。

○地域活動へ参加していない理由（性別・年齢別・居住地区別）

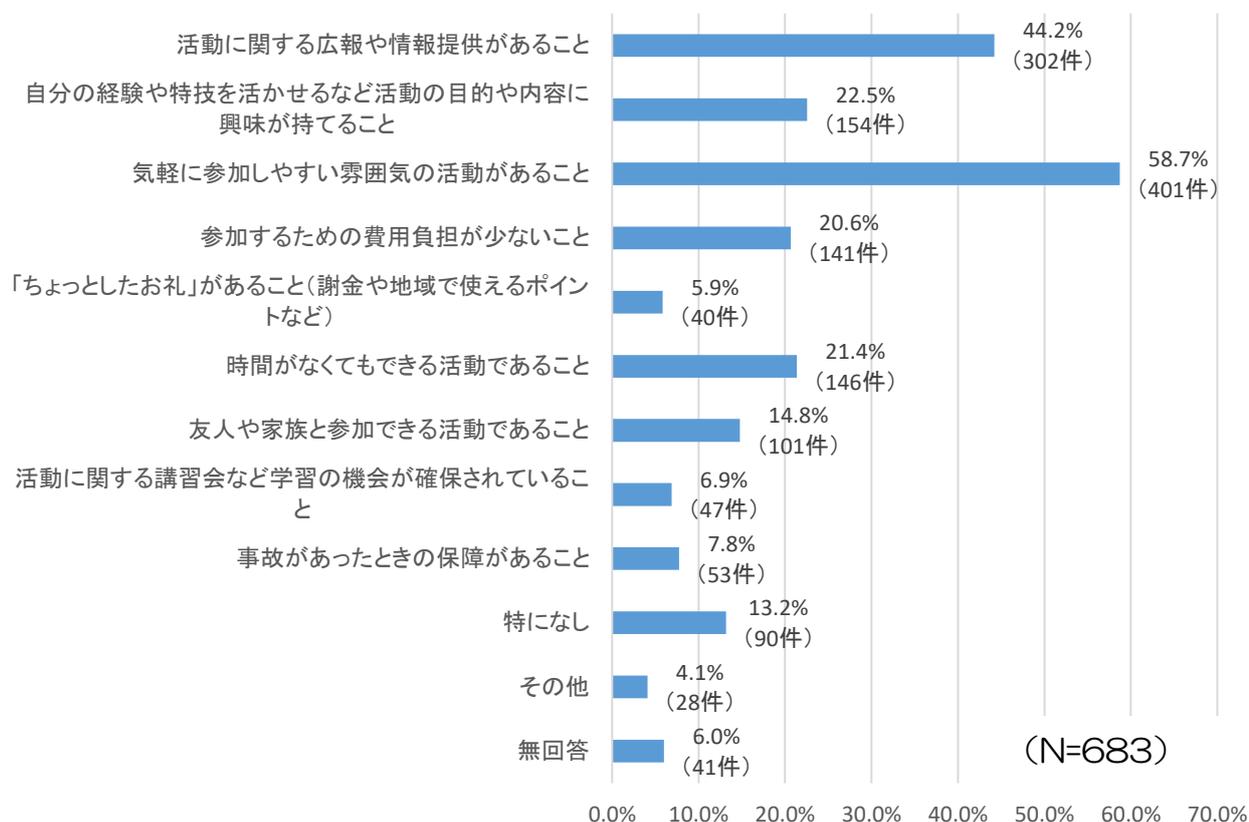
	調査数 (上段:実数) (下段:割合)	地域活動へ参加していない理由											
		仕事や家事などで時間に余裕がない	体力がある健康状態に不安	育児や介護のため外出できない	興味のある活動がない	参加してみたいがきっかけがない	かわかな活動がない	人間関係がわずらわしい	地域の活動自体に興味がでない	活動するために費用がかかる	その他	無回答	
全体	465 100.0	206 44.3	132 28.4	15 3.2	83 17.8	66 14.2	118 25.4	92 19.8	69 14.8	16 3.4	35 7.5	29 6.2	
性別	男性	188 100.0	80 42.6	55 29.3	2 1.1	32 17.0	21 11.2	42 22.3	40 21.3	32 17.0	5 2.7	16 8.5	9 4.8
	女性	274 100.0	123 44.9	75 27.4	13 4.7	51 18.6	44 16.1	75 27.4	51 18.6	37 13.5	11 4.0	19 6.9	16 5.8
年齢	10歳代	10 100.0	4 40.0	1 10.0	-	2 20.0	-	5 50.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	-
	20歳代	39 100.0	18 46.2	4 10.3	3 7.7	9 23.1	7 17.9	14 35.9	5 12.8	14 35.9	1 2.6	3 7.7	-
	30歳代	37 100.0	20 54.1	1 2.7	4 10.8	5 13.5	5 13.5	17 45.9	5 13.5	7 18.9	2 5.4	1 2.7	2 5.4
	40歳代	55 100.0	43 78.2	2 3.6	4 7.3	10 18.2	10 18.2	16 29.1	15 27.3	11 20.0	1 1.8	2 3.6	1 1.8
	50歳代	72 100.0	50 69.4	12 16.7	2 2.8	17 23.6	13 18.1	20 27.8	15 20.8	6 8.3	2 2.8	3 4.2	3 4.2
	60歳代	89 100.0	41 46.1	24 27.0	1 1.1	17 19.1	13 14.6	21 23.6	21 23.6	10 11.2	4 4.5	5 5.6	4 4.5
	70歳代	88 100.0	21 23.9	38 43.2	-	17 19.3	13 14.8	17 19.3	19 21.6	12 13.6	3 3.4	10 11.4	8 9.1
	80歳以上	73 100.0	7 9.6	48 65.8	1 1.4	6 8.2	5 6.8	8 11.0	9 12.3	7 9.6	2 2.7	10 13.7	7 9.6
居住地区	塩谷地区	11 100.0	5 45.5	2 18.2	-	3 27.3	-	1 9.1	4 36.4	2 18.2	1 9.1	2 18.2	2 18.2
	高島地区	31 100.0	12 38.7	9 29.0	-	7 22.6	5 16.1	10 32.3	6 19.4	4 12.9	2 6.5	1 3.2	3 9.7
	長橋・オタモイ地区	49 100.0	23 46.9	12 24.5	1 2.0	12 24.5	9 18.4	9 18.4	10 20.4	13 26.5	3 6.1	4 8.2	2 4.1
	手宮地区	21 100.0	15 71.4	10 47.6	-	4 19.0	2 9.5	6 28.6	5 23.8	3 14.3	-	1 4.8	-
	浜小樽地区	14 100.0	1 7.1	4 28.6	-	1 7.1	1 7.1	4 28.6	2 14.3	1 7.1	-	-	3 21.4
	中央地区	67 100.0	27 40.3	19 28.4	3 4.5	13 19.4	9 13.4	30 44.8	12 17.9	6 9.0	4 6.0	3 4.5	3 4.5
	奥沢地区	31 100.0	12 38.7	13 41.9	-	4 12.9	5 16.1	5 16.1	5 16.1	5 16.1	-	4 12.9	1 3.2
	南樽地区	42 100.0	22 52.4	10 23.8	2 4.8	6 14.3	7 16.7	15 35.7	5 11.9	3 7.1	1 2.4	4 9.5	1 2.4
	入船地区	47 100.0	21 44.7	13 27.7	3 6.4	10 21.3	6 12.8	11 23.4	9 19.1	7 14.9	2 4.3	3 6.4	4 8.5
	東小樽地区	64 100.0	23 35.9	18 28.1	2 3.1	10 15.6	12 18.8	10 15.6	11 17.2	10 15.6	-	6 9.4	4 6.3
	朝里地区	49 100.0	25 51.0	10 20.4	4 8.2	8 16.3	5 10.2	13 26.5	14 28.6	7 14.3	3 6.1	5 10.2	3 6.1
	銭函地区	37 100.0	19 51.4	12 32.4	-	5 13.5	5 13.5	4 10.8	8 21.6	7 18.9	-	2 5.4	1 2.7

注) は各分類の中で最も高い項目を示す。

⑤地域活動へ参加しやすくするために大切なこと 【複数回答～3つまで】

地域活動へ参加しやすくするために大切なことについては、「気軽に参加しやすい雰囲気のある活動があること」が58.7%で最も多く、「活動に関する広報や情報提供があること」が44.2%で次いでいます。

「その他」については、「活動が日中だけでなく夜間にもあること」「まず近所の人同士交流を持てるように小規模の集まりなどがあるとよい」などの回答があります。



性別に見ると大きな違いはありません。

年齢別に見ると、どの年代においても「気軽に参加しやすい雰囲気のある活動があること」が最も多くなっていますが、30歳代においては「活動に関する広報や情報提供があること」も6割を超えています。

居住地区別に見ると、ほとんどの地区で「気軽に参加しやすい雰囲気のある活動があること」が最も多いものの、奥沢地区のみは「活動に関する広報や情報提供があること」が最も多くなっています。

○地域活動へ参加しやすくするために大切なこと（性別・年齢別・居住地区別）

	調査数	地域活動へ参加しやすくするために大切なこと											無回答		
		と活動に関する広報や情報提供があること	の目的や内容に興味を持てること	気軽に参加しやすい雰囲気	参加するための費用負担が少ないこと	金や地域で使えるポイントなど	時間がなくてもできる活動であること	と友人や家族と参加できる活動であること	確保されていること	活動に関する講習会など学習の機会があること	事故があったときの保障があること	特になし		その他	
(上段:実数) (下段:割合)															
全体	683 100.0	302 44.2	154 22.5	401 58.7	141 20.6	40 5.9	146 21.4	101 14.8	47 6.9	53 7.8	90 13.2	28 4.1	41 6.0		
性別	男性	282 100.0	122 43.3	80 28.4	154 54.6	45 16.0	17 6.0	60 21.3	44 15.6	17 6.0	29 10.3	45 16.0	16 5.7	13 4.6	
	女性	391 100.0	174 44.5	71 18.2	244 62.4	94 24.0	23 5.9	83 21.2	56 14.3	29 7.4	22 5.6	44 11.3	12 3.1	28 7.2	
年齢	10歳代	11 100.0	2 18.2	2 18.2	6 54.5	4 36.4	1 9.1	4 36.4	2 18.2	-	-	2 18.2	1 9.1	-	
	20歳代	42 100.0	15 35.7	9 21.4	24 57.1	9 21.4	10 23.8	10 23.8	9 21.4	1 2.4	4 9.5	5 11.9	1 2.4	-	
	30歳代	46 100.0	28 60.9	7 15.2	32 69.6	13 28.3	6 13.0	11 23.9	11 23.9	2 4.3	2 4.3	3 6.5	1 2.2	-	
	40歳代	81 100.0	31 38.3	15 18.5	53 65.4	19 23.5	7 8.6	29 35.8	13 16.0	6 7.4	3 3.7	7 8.6	2 2.5	1 1.2	
	50歳代	104 100.0	50 48.1	33 31.7	66 63.5	18 17.3	6 5.8	31 29.8	14 13.5	5 4.8	3 2.9	12 11.5	9 8.7	1 1.0	
	60歳代	136 100.0	67 49.3	40 29.4	89 65.4	31 22.8	3 2.2	22 16.2	15 11.0	13 9.6	17 12.5	15 11.0	4 2.9	7 5.1	
	70歳代	134 100.0	62 46.3	27 20.1	77 57.5	24 17.9	3 2.2	22 16.4	16 11.9	14 10.4	8 6.0	18 13.4	2 1.5	15 11.2	
	80歳以上	120 100.0	42 35.0	19 15.8	52 43.3	21 17.5	4 3.3	14 11.7	20 16.7	5 4.2	14 11.7	27 22.5	8 6.7	17 14.2	
居住地区	塩谷地区	22 100.0	9 40.9	6 27.3	11 50.0	4 18.2	-	4 18.2	5 22.7	1 4.5	3 13.6	2 9.1	1 4.5	3 13.6	
	高島地区	40 100.0	21 52.5	8 20.0	25 62.5	4 10.0	4 10.0	10 25.0	5 12.5	1 2.5	2 5.0	3 7.5	3 7.5	5 12.5	
	長橋・オタモイ地区	74 100.0	33 44.6	10 13.5	43 58.1	16 21.6	8 10.8	16 21.6	12 16.2	6 8.1	7 9.5	10 13.5	3 4.1	3 4.1	
	手宮地区	29 100.0	12 41.4	4 13.8	16 55.2	4 13.8	2 6.9	9 31.0	3 10.3	2 6.9	2 6.9	3 10.3	1 3.4	4 13.8	
	浜小樽地区	27 100.0	10 37.0	4 14.8	14 51.9	6 22.2	1 3.7	6 22.2	4 14.8	2 7.4	-	7 25.9	3 11.1	-	
	中央地区	93 100.0	46 49.5	19 20.4	62 66.7	18 19.4	3 3.2	25 26.9	14 15.1	10 10.8	7 7.5	7 7.5	2 2.2	6 6.5	
	奥沢地区	44 100.0	24 54.5	11 25.0	17 38.6	10 22.7	1 2.3	6 13.6	3 6.8	2 4.5	3 6.8	9 20.5	1 2.3	3 6.8	
	南樽地区	57 100.0	27 47.4	14 24.6	33 57.9	10 17.5	4 7.0	12 21.1	8 14.0	4 7.0	5 8.8	12 21.1	1 1.8	4 7.0	
	入船地区	68 100.0	35 51.5	17 25.0	43 63.2	14 20.6	3 4.4	13 19.1	12 17.6	4 5.9	4 5.9	10 14.7	2 2.9	2 2.9	
	東小樽地区	88 100.0	26 29.5	25 28.4	45 51.1	13 14.8	4 4.5	14 15.9	16 18.2	4 4.5	7 8.0	16 18.2	3 3.4	5 5.7	
	朝里地区	69 100.0	33 47.8	18 26.1	43 62.3	14 20.3	5 7.2	15 21.7	9 13.0	7 10.1	3 4.3	6 8.7	7 10.1	2 2.9	
銭函地区	68 100.0	23 33.8	17 25.0	48 70.6	26 38.2	5 7.4	16 23.5	9 13.2	3 4.4	10 14.7	5 7.4	1 1.5	3 4.4		

注) は各分類の中で最も高い項目を示す。

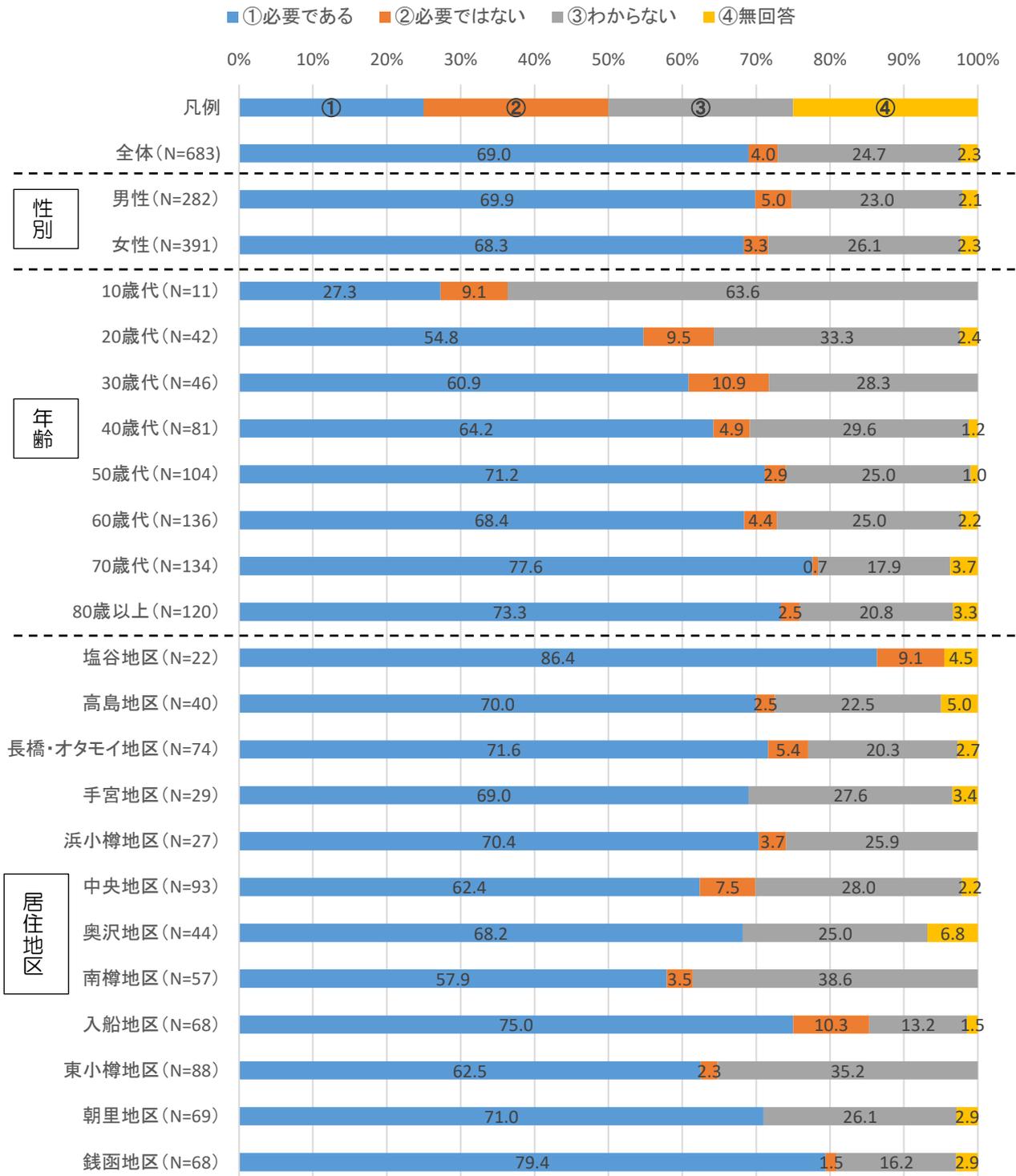
(3) 地域での支え合いについて

①地域での支え合いの必要性 【単一回答】

地域での支え合いについては、「必要である」との回答が多く、69.0%を占めています。性別に見ると大きな違いはありません。

年齢別に見ると、10歳代は「わからない」、20歳代以降は「必要である」が最も多くなっていますが、高年齢ほど「必要である」と回答する割合が高くなる傾向が見られます。

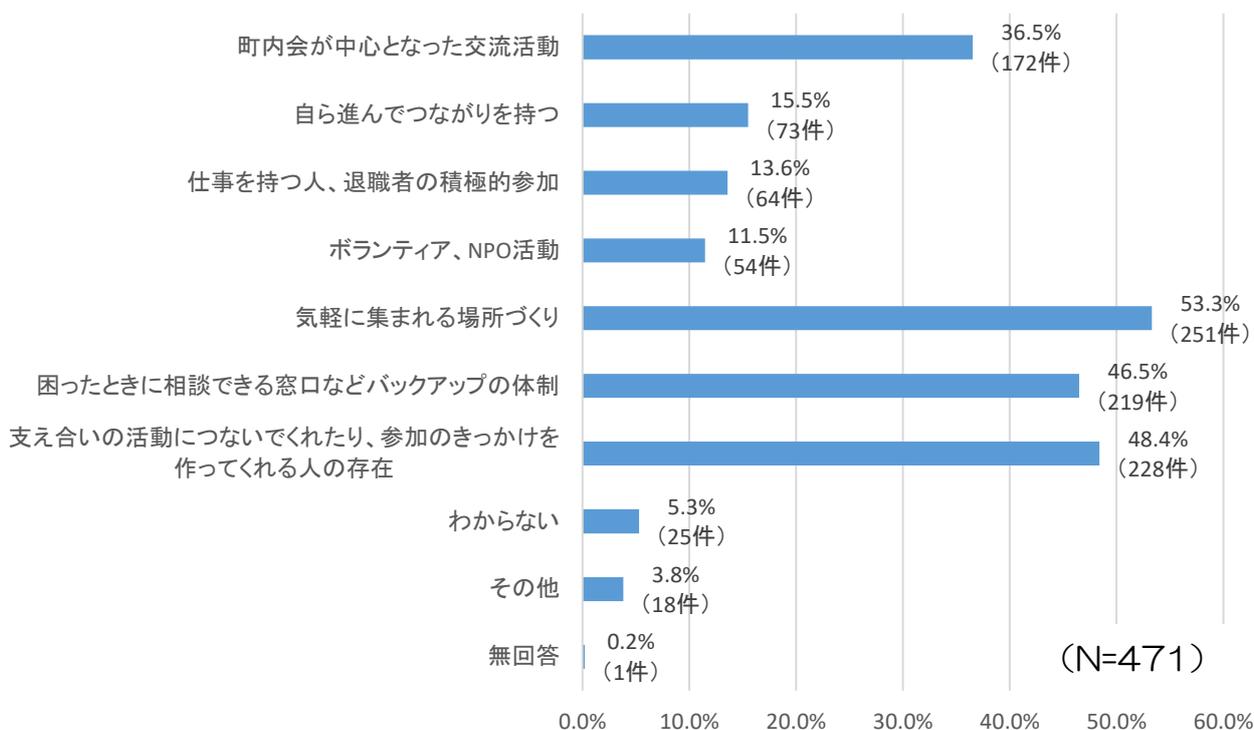
居住地区別に見ると、全ての地区で「必要である」が最も多く、特に塩谷地区では86.4%と高くなっています。



②支え合いに必要なこと(①で「必要である」と答えた方のみ回答)【複数回答～3つまで】

地域での支え合いに必要なことについては、「気軽に集まれる場所づくり」が53.3%で最も多く、「支え合いの活動につないでくれたり、参加のきっかけを作ってくれる人の存在」が48.4%で次いでいます。

「その他」については、「近所の人と気軽に付き合う」「町内でクリーン活動日などを設けることによる交流促進」などの回答があります。



性別に見ると、男性の方が女性よりも「町内会が中心となった交流活動」が7.3ポイント上回っています。

年齢別に見ると、どの年代においても「気軽に集まれる場所づくり」が多くなっていますが、40歳代以下においては「支え合いの活動につないでくれたり、参加のきっかけを作ってくれる人の存在」が併せて多くなっており、80歳以上のみ「町内会が中心となった交流活動」が最も多くなっています。

居住地区別に見ると、「気軽に集まれる場所づくり」が最も多い地区が多くなっていますが、塩谷地区は「町内会が中心となった交流活動」、高島地区・手宮地区・奥沢地区・銭函地区は「支え合いの活動につないでくれたり、参加のきっかけを作ってくれる人の存在」、中央地区では「困ったときに相談できる窓口などバックアップの体制」が最も多くなっており、地区ごとでの考え方の違いが見られます。

○支え合いに必要なこと（性別・年齢別・居住地区別）

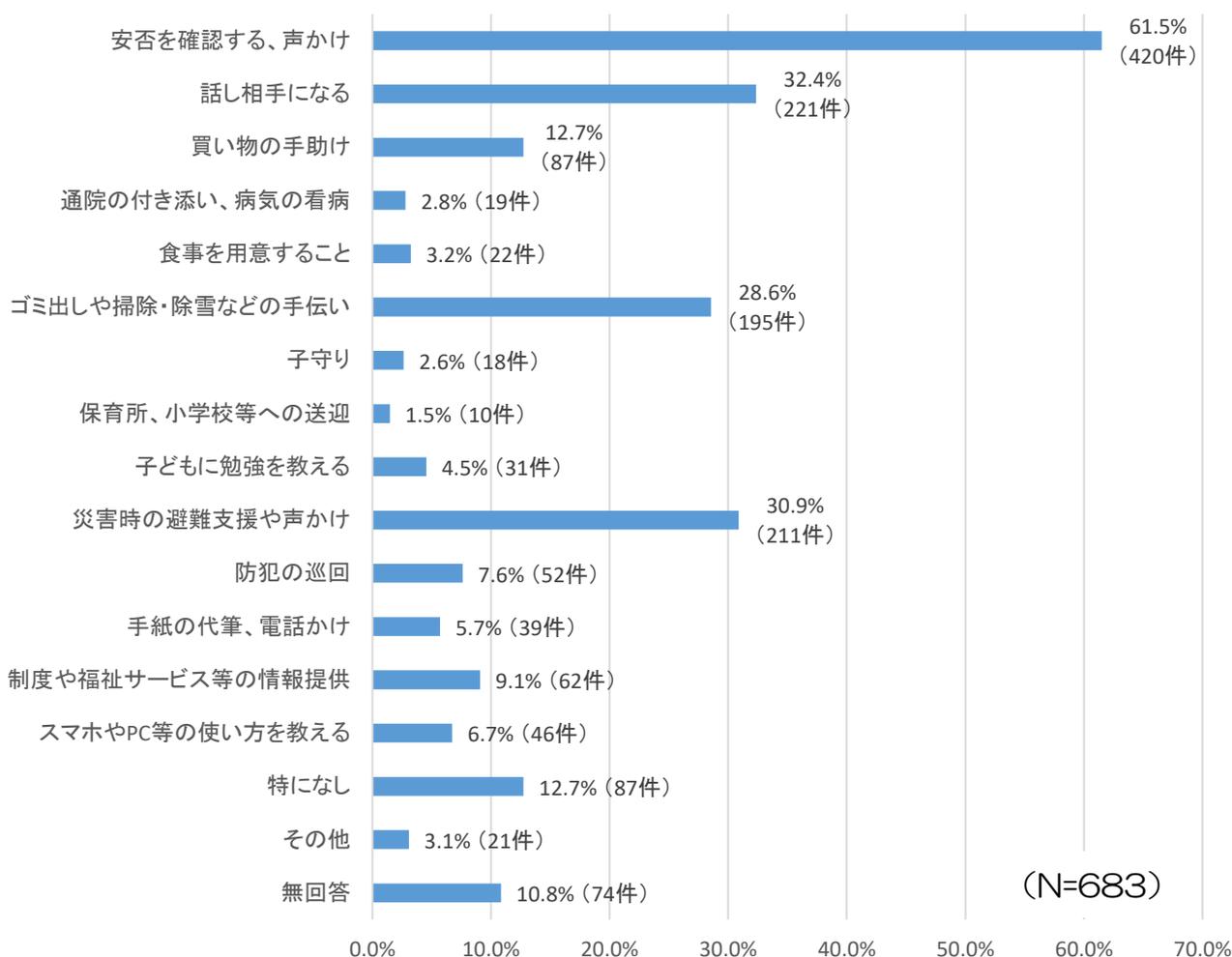
	調査数	支え合いに必要なこと										
		町内会が中心となった交流活動	自ら進んでつながりを持つ	仕事を持つ人、退職者の積極的参加	ボランティア、NPO活動	気軽に集まれる場所づくり	ア困ったときに相談できる窓口などバック	加支えのきついかけを作ってくれ人の存在	わからない	その他	無回答	
(上段:実数) (下段:割合)												
全体	471 100.0	172 36.5	73 15.5	64 13.6	54 11.5	251 53.3	219 46.5	228 48.4	25 5.3	18 3.8	1 0.2	
性別	男性	197 100.0	80 40.6	31 15.7	30 15.2	29 14.7	100 50.8	93 47.2	88 44.7	12 6.1	12 6.1	1 0.5
	女性	267 100.0	89 33.3	42 15.7	34 12.7	23 8.6	149 55.8	122 45.7	136 50.9	12 4.5	6 2.2	-
年齢	10歳代	3 100.0	-	-	-	1 33.3	2 66.7	2 66.7	1 33.3	-	-	-
	20歳代	23 100.0	6 26.1	3 13.0	2 8.7	4 17.4	13 56.5	12 52.2	12 52.2	1 4.3	-	-
	30歳代	28 100.0	4 14.3	2 7.1	4 14.3	3 10.7	16 57.1	17 60.7	21 75.0	1 3.6	1 3.6	-
	40歳代	52 100.0	8 15.4	8 15.4	5 9.6	8 15.4	29 55.8	29 55.8	23 44.2	1 1.9	2 3.8	-
	50歳代	74 100.0	18 24.3	12 16.2	16 21.6	11 14.9	38 51.4	33 44.6	34 45.9	1 1.4	3 4.1	-
	60歳代	93 100.0	40 43.0	17 18.3	17 18.3	6 6.5	55 59.1	36 38.7	46 49.5	4 4.3	1 1.1	-
	70歳代	104 100.0	46 44.2	16 15.4	13 12.5	12 11.5	62 59.6	46 44.2	53 51.0	8 7.7	7 6.7	-
	80歳以上	88 100.0	47 53.4	15 17.0	7 8.0	8 9.1	35 39.8	40 45.5	35 39.8	8 9.1	4 4.5	1 1.1
居住地区	塩谷地区	19 100.0	11 57.9	2 10.5	1 5.3	1 5.3	9 47.4	10 52.6	6 31.6	-	-	-
	高島地区	28 100.0	7 25.0	5 17.9	5 17.9	7 25.0	13 46.4	16 57.1	17 60.7	1 3.6	1 3.6	-
	長橋・オタモイ地区	53 100.0	23 43.4	6 11.3	8 15.1	6 11.3	29 54.7	22 41.5	23 43.4	5 9.4	2 3.8	-
	手宮地区	20 100.0	9 45.0	2 10.0	3 15.0	2 10.0	11 55.0	7 35.0	11 55.0	2 10.0	-	-
	浜小樽地区	19 100.0	7 36.8	1 5.3	1 5.3	1 5.3	10 52.6	6 31.6	5 26.3	-	3 15.8	1 5.3
	中央地区	58 100.0	16 27.6	7 12.1	8 13.8	5 8.6	34 58.6	39 67.2	26 44.8	3 5.2	1 1.7	-
	奥沢地区	30 100.0	13 43.3	5 16.7	2 6.7	1 3.3	15 50.0	9 30.0	17 56.7	1 3.3	1 3.3	-
	南樽地区	33 100.0	7 21.2	5 15.2	5 15.2	4 12.1	17 51.5	14 42.4	15 45.5	1 3.0	2 6.1	-
	入船地区	51 100.0	22 43.1	13 25.5	9 17.6	7 13.7	27 52.9	25 49.0	26 51.0	2 3.9	1 2.0	-
	東小樽地区	55 100.0	17 30.9	12 21.8	7 12.7	4 7.3	27 49.1	22 40.0	26 47.3	6 10.9	-	-
	朝里地区	49 100.0	15 30.6	5 10.2	6 12.2	9 18.4	31 63.3	26 53.1	28 57.1	3 6.1	3 6.1	-
	銭函地区	54 100.0	24 44.4	10 18.5	9 16.7	6 11.1	27 50.0	22 40.7	28 51.9	1 1.9	4 7.4	-

注) は各分類の中で最も高い項目を示す。

③近所の方を手助けできること 【複数回答～当てはまるものすべて】

近所の方を手助けできることについては、「安否を確認する、声かけ」が61.5%で最も多く、「話し相手になる」が32.4%で次いでいます。

「その他」については、「手助けが必要かどうか見極めが難しい」「助けられることを拒絶する人もいるので安易に声かけはできない」などの回答があります。



性別に見ると、大きな違いはありません。

年齢別に見ると、どの年代においても「安否を確認する、声かけ」が多くなっていますが、50歳代では72.1%を占めています。

居住地区別に見ると、どの地区においても「安否を確認する、声かけ」が最も多くなっており、大きな違いはありません。

○近所の方を手助けできること（性別・年齢別・居住地区別）

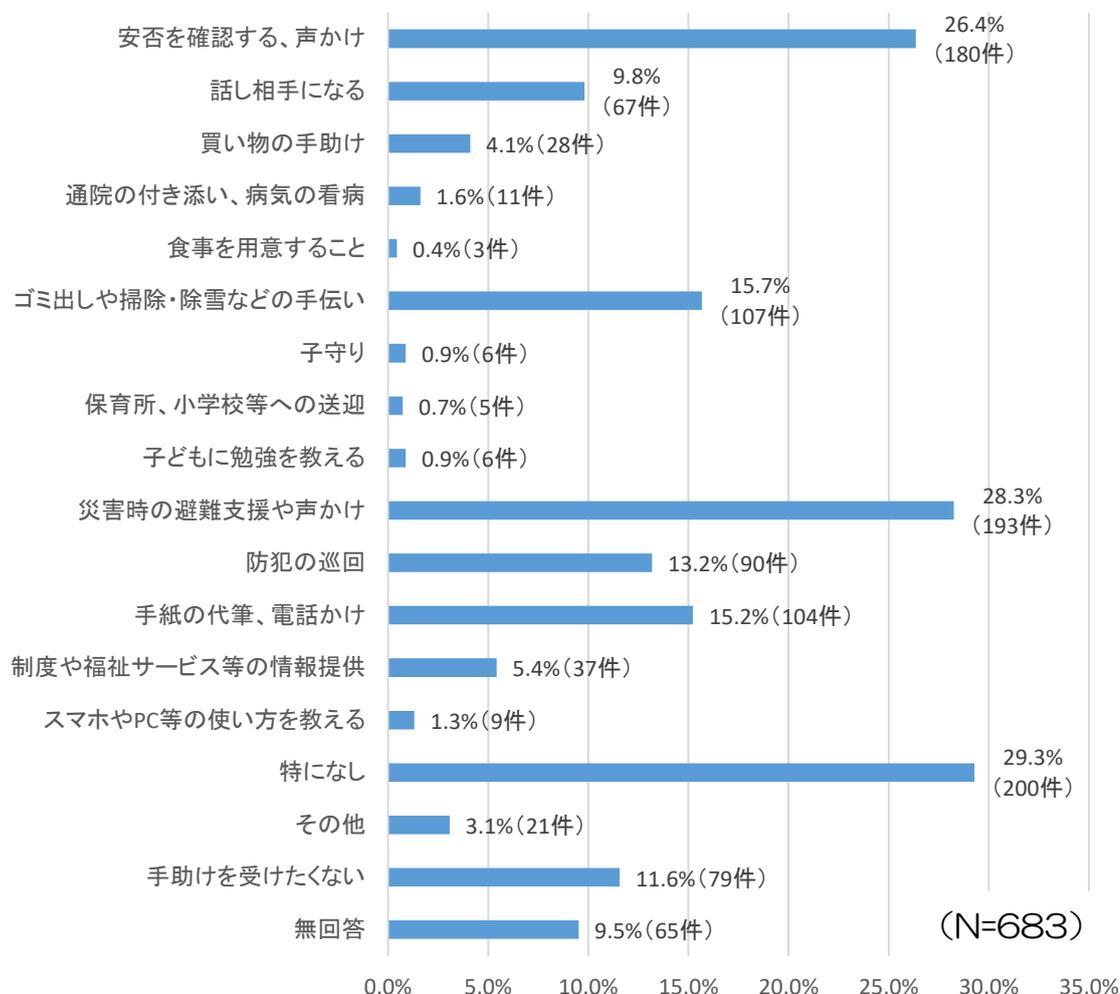
	調査数 (上段:実数) (下段:割合)	近所の方を手助けできること																	
		け安 否を 確認 する、 声か	話し 相手 になる	買 い物 の手 助け	通 院の 付き 添い、 病 気	食 事 を 用 意 す る こ と	の ゴ ミ 出 し や 掃 除 ・ 除 雪	子 守 り	送 迎	保 育 所、 小 学 校 等 へ の	子 ど も に 勉 強 を 教 え る	か 災 害 時 の 避 難 支 援 や 声	防 犯 の 巡 回	手 紙 の 代 筆、 電 話 か け	の 情 報 や 福 祉 サ ー ビ ス 等	を 教 え る ス マ ホ や P C の 使 い 方	特 に な し	そ の 他	無 回 答
全体	683 100.0	420 61.5	221 32.4	87 12.7	19 2.8	22 3.2	195 28.6	18 2.6	10 1.5	31 4.5	211 30.9	52 7.6	39 5.7	62 9.1	46 6.7	87 12.7	21 3.1	74 10.8	
性別	男性	282 100.0	160 56.7	79 28.0	28 9.9	5 1.8	4 1.4	95 33.7	3 1.1	3 1.1	18 6.4	85 30.1	31 11.0	10 3.5	26 9.2	23 8.2	41 14.5	11 3.9	32 11.3
	女性	391 100.0	256 65.5	137 35.0	59 15.1	13 3.3	18 4.6	95 24.3	15 3.8	7 1.8	12 3.1	125 32.0	21 5.4	26 6.6	35 9.0	23 5.9	44 11.3	10 2.6	40 10.2
年齢	10歳代	11 100.0	4 36.4	3 27.3	1 9.1	-	-	4 36.4	-	-	2 18.2	2 18.2	-	-	1 9.1	3 27.3	1 9.1	1 9.1	1 9.1
	20歳代	42 100.0	24 57.1	18 42.9	8 19.0	1 2.4	-	18 42.9	5 11.9	3 7.1	6 14.3	15 35.7	3 7.1	2 4.8	2 4.8	9 21.4	2 4.8	1 2.4	1 2.4
	30歳代	46 100.0	26 56.5	16 34.8	6 13.0	-	3 6.5	7 15.2	3 6.5	-	3 6.5	19 41.3	4 8.7	2 4.3	2 4.3	8 17.4	7 15.2	2 4.3	6 13.0
	40歳代	81 100.0	50 61.7	20 24.7	13 16.0	1 1.2	1 1.2	23 28.4	3 3.7	-	4 4.9	30 37.0	13 16.0	8 9.9	5 6.2	5 6.2	12 14.8	5 6.2	3 3.7
	50歳代	104 100.0	75 72.1	26 25.0	17 16.3	1 1.0	3 2.9	37 35.6	-	1 1.0	5 4.8	45 43.3	5 4.8	7 6.7	9 8.7	13 12.5	7 6.7	4 3.8	8 7.7
	60歳代	136 100.0	94 69.1	47 34.6	22 16.2	9 6.6	4 2.9	43 31.6	5 3.7	3 2.2	2 1.5	46 33.8	11 8.1	9 6.6	12 8.8	5 3.7	14 10.3	1 0.7	13 9.6
	70歳代	134 100.0	88 65.7	50 37.3	13 9.7	3 2.2	7 5.2	38 28.4	1 0.7	2 1.5	3 2.2	38 28.4	11 8.2	3 2.2	18 13.4	1 0.7	18 13.4	2 1.5	15 11.2
	80歳以上	120 100.0	56 46.7	36 30.0	7 5.8	3 2.5	4 3.3	21 17.5	1 0.8	1 0.8	6 5.0	15 12.5	5 4.2	5 4.2	12 10.0	2 1.7	24 20.0	5 4.2	25 20.8
居住地区	塩谷地区	22 100.0	14 63.6	5 22.7	3 13.6	-	-	8 36.4	-	1 4.5	-	5 22.7	2 9.1	-	3 13.6	-	2 9.1	1 4.5	3 13.6
	高島地区	40 100.0	23 57.5	11 27.5	3 7.5	-	1 2.5	15 37.5	-	-	2 5.0	10 25.0	3 7.5	3 7.5	4 10.0	5 12.5	4 10.0	4 10.0	
	長橋・オタモイ地区	74 100.0	43 58.1	30 40.5	9 12.2	2 2.7	1 1.4	20 27.0	6 8.1	1 1.4	5 6.8	26 35.1	12 16.2	3 4.1	11 14.9	7 9.5	11 14.9	1 1.4	6 8.1
	手宮地区	29 100.0	19 65.5	9 31.0	5 17.2	2 6.9	2 6.9	8 27.6	-	-	-	9 31.0	1 3.4	-	2 6.9	2 6.9	3 10.3	2 6.9	4 13.8
	浜小樽地区	27 100.0	14 51.9	10 37.0	3 11.1	1 3.7	-	7 25.9	-	-	2 7.4	8 29.6	-	-	1 3.7	2 7.4	5 18.5	-	2 7.4
	中央地区	93 100.0	58 62.4	22 23.7	9 9.7	2 2.2	4 4.3	20 21.5	1 1.1	-	6 6.5	34 36.6	5 5.4	6 6.5	12 12.9	7 7.5	11 11.8	3 3.2	11 11.8
	奥沢地区	44 100.0	23 52.3	13 29.5	5 11.4	2 4.5	2 4.5	15 34.1	-	-	2 4.5	7 15.9	-	-	3 6.8	1 2.3	4 9.1	1 2.3	9 20.5
	南樽地区	57 100.0	33 57.9	18 31.6	6 10.5	1 1.8	2 3.5	14 24.6	-	2 3.5	-	16 28.1	5 8.8	4 7.0	4 7.0	3 5.3	9 15.8	-	5 8.8
	入船地区	68 100.0	38 55.9	27 39.7	12 17.6	3 4.4	3 4.4	21 30.9	4 5.9	1 1.5	2 2.9	24 35.3	4 5.9	4 5.9	2 2.9	6 8.8	10 14.7	1 1.5	8 11.8
	東小樽地区	88 100.0	58 65.9	24 27.3	12 13.6	2 2.3	5 5.7	27 30.7	1 1.1	2 2.3	4 4.5	28 31.8	8 9.1	6 6.8	11 12.5	4 4.5	8 9.1	4 4.5	10 11.4
	朝里地区	69 100.0	48 69.6	25 36.2	9 13.0	2 2.9	1 1.4	20 29.0	4 5.8	1 1.4	6 8.7	22 31.9	9 13.0	6 8.7	8 11.6	6 8.7	8 11.6	2 2.9	5 7.2
	銭函地区	68 100.0	47 69.1	25 36.8	10 14.7	1 1.5	1 1.5	18 26.5	2 2.9	2 2.9	2 2.9	20 29.4	4 5.9	6 8.8	1 1.5	4 5.9	10 14.7	2 2.9	7 10.3

注) は各分類の中で最も高い項目を示す。

④近所の方から手助けを受けたいと思うこと 【複数回答～当てはまるものすべて】

近所の方から手助けを受けたいと思うことについては、「特になし」(29.3%)を除くと、「災害時の避難支援や声かけ」が28.3%で最も多くなっています。

「その他」については、「通学中や部活動帰りの子どもたちの見守り」「郵便物の内容確認」などの回答があります。



性別に見ると、大きな違いはありません。

年齢別に見ると、10歳代を除く60歳代以下において「災害時の避難支援や声かけ」が最も多くなっていますが、70歳代以上では「安否を確認する、声かけ」が最も多くなっています。

居住地区別に見ると、いずれの地区においても「災害時の避難支援や声かけ」、又は「安否を確認する、声かけ」が最も多くなっています。

○近所の方から手助けを受けたいと思うこと（性別・年齢別・居住地区別）

	調査数 (上段:実数) (下段:割合)	近所の方から手助けを受けたいと思うこと																	
		け安 否を 確認 する、 声か	話 し相 手にな る	買 い物 の手 助け	通 院の 付き 添い、 病 気	食 事 を 用 意 す る こ と	ゴ ミ 出 し や 掃 除 ・ 除 雪	子 守 り	送 迎 保 育 所、 小 学 校 等 へ の	子 ど も に 勉 強 を 教 え る	か け 災 害 時 の 避 難 支 援 や 声	防 犯 の 巡 回	手 紙 の 代 筆、 電 話 か け	の 制 度 や 福 祉 サ ー ビ ス 等	ス マ ホ や P C の 使 い 方 を 教 え る	特 に な し	そ の 他	手 助 け を 受 け た く な い	無 回 答
全体	683 100.0	180 26.4	67 9.8	28 4.1	11 1.6	3 0.4	107 15.7	6 0.9	5 0.7	6 0.9	193 28.3	90 13.2	5 0.7	104 15.2	9 1.3	200 29.3	21 3.1	79 11.6	65 9.5
性別	男性	282 100.0	63 22.3	35 12.4	10 3.5	6 2.1	47 16.7		1 0.4	2 0.7	75 26.6	28 9.9	2 0.7	43 15.2	1 0.4	97 34.4	5 1.8	36 12.8	28 9.9
	女性	391 100.0	114 29.2	31 7.9	16 4.1	5 1.3	2 0.5	56 14.3	6 1.5	4 1.0	4 1.0	116 29.7	61 15.6	3 0.8	59 15.1	6 1.5	100 25.6	16 4.1	43 11.0
年齢	10歳代	11 100.0	2 18.2	-	-	-	2 18.2	-	-	-	1 9.1	1 9.1	-	1 9.1	-	7 63.6	-	1 9.1	1 9.1
	20歳代	42 100.0	9 21.4	8 19.0	2 4.8	-	5 11.9	-	-	-	11 26.2	3 7.1	-	2 4.8	-	16 38.1	-	5 11.9	-
	30歳代	46 100.0	9 19.6	2 4.3	2 4.3	-	6 13.0	5 10.9	4 8.7	2 4.3	14 30.4	11 23.9	-	5 10.9	-	11 23.9	-	7 15.2	2 4.3
	40歳代	81 100.0	12 14.8	3 3.7	1 1.2	2 2.5	4 4.9	1 1.2	-	1 1.2	20 24.7	14 17.3	-	6 7.4	-	30 37.0	2 2.5	11 13.6	6 7.4
	50歳代	104 100.0	25 24.0	6 5.8	2 1.9	1 1.0	16 15.4	-	-	1 1.0	31 29.8	21 20.2	3 2.9	16 15.4	2 1.9	36 34.6	6 5.8	3 2.9	4 3.8
	60歳代	136 100.0	31 22.8	10 7.4	7 5.1	2 1.5	23 16.9	-	-	-	35 25.7	15 11.0	-	18 13.2	4 2.9	48 35.3	5 3.7	18 13.2	9 6.6
	70歳代	134 100.0	52 38.8	19 14.2	5 3.7	2 1.5	26 19.4	-	1 0.7	1 0.7	47 35.1	14 10.4	1 0.7	33 24.6	2 1.5	24 17.9	3 2.2	20 14.9	20 14.9
	80歳以上	120 100.0	37 30.8	18 15.0	7 5.8	4 3.3	21 17.5	-	-	1 0.8	33 27.5	11 9.2	1 0.8	21 17.5	-	25 20.8	5 4.2	14 11.7	22 18.3
居住地区	塩谷地区	22 100.0	4 18.2	1 4.5	4 18.2	1 4.5	4 18.2	-	-	-	5 22.7	1 4.5	-	5 22.7	1 4.5	6 27.3	1 4.5	4 18.2	4 18.2
	高島地区	40 100.0	8 20.0	3 7.5	1 2.5	-	8 20.0	1 2.5	1 2.5	1 2.5	11 27.5	7 17.5	-	6 15.0	-	8 20.0	10 25.0	6 15.0	4 10.0
	長橋・オタマイ地区	74 100.0	24 32.4	9 12.2	3 4.1	2 2.7	11 14.9	1 1.4	2 2.7	1 1.4	18 24.3	10 13.5	1 1.4	9 12.2	-	23 31.1	-	11 14.9	6 8.1
	手宮地区	29 100.0	7 24.1	6 20.7	2 6.9	-	6 20.7	-	-	-	11 37.9	4 13.8	-	5 17.2	-	5 17.2	2 6.9	1 3.4	2 6.9
	浜小樽地区	27 100.0	4 14.8	3 11.1	1 3.7	1 3.7	3 11.1	-	-	-	5 18.5	3 11.1	-	4 14.8	-	11 40.7	-	2 7.4	2 7.4
	中央地区	93 100.0	23 24.7	3 3.2	4 4.3	1 1.1	12 12.9	1 1.1	-	-	35 37.6	16 17.2	-	19 20.4	2 2.2	27 29.0	3 3.2	6 6.5	8 8.6
	奥沢地区	44 100.0	12 27.3	6 13.6	2 4.5	1 2.3	6 13.6	-	-	1 2.3	10 22.7	8 18.2	-	6 13.6	4 9.1	12 27.3	3 6.8	5 11.4	7 15.9
	南樽地区	57 100.0	17 29.8	4 7.0	-	1 1.8	8 14.0	1 1.8	-	-	17 29.8	8 14.0	-	7 12.3	-	14 24.6	-	6 10.5	6 10.5
	入船地区	68 100.0	13 19.1	8 11.8	1 1.5	1 1.5	12 17.6	-	1 1.5	-	22 32.4	4 5.9	-	6 8.8	1 1.5	24 35.3	1 1.5	6 8.8	8 11.8
	東小樽地区	88 100.0	25 28.4	9 10.2	3 3.4	2 2.3	14 15.9	-	-	2 2.3	22 25.0	9 10.2	-	14 15.9	1 1.1	27 30.7	4 4.5	14 15.9	6 6.8
	朝里地区	69 100.0	17 24.6	6 8.7	4 5.8	-	10 14.5	2 2.9	1 1.4	1 1.4	19 27.5	7 10.1	1 1.4	11 15.9	1 1.4	23 33.3	2 2.9	9 13.0	4 5.8
	銭函地区	68 100.0	25 36.8	9 13.2	2 2.9	1 1.5	12 17.6	-	-	-	17 25.0	12 17.6	3 4.4	11 16.2	-	19 27.9	1 1.5	8 11.8	8 11.8

注) は各分類の中で最も高い項目を示す。

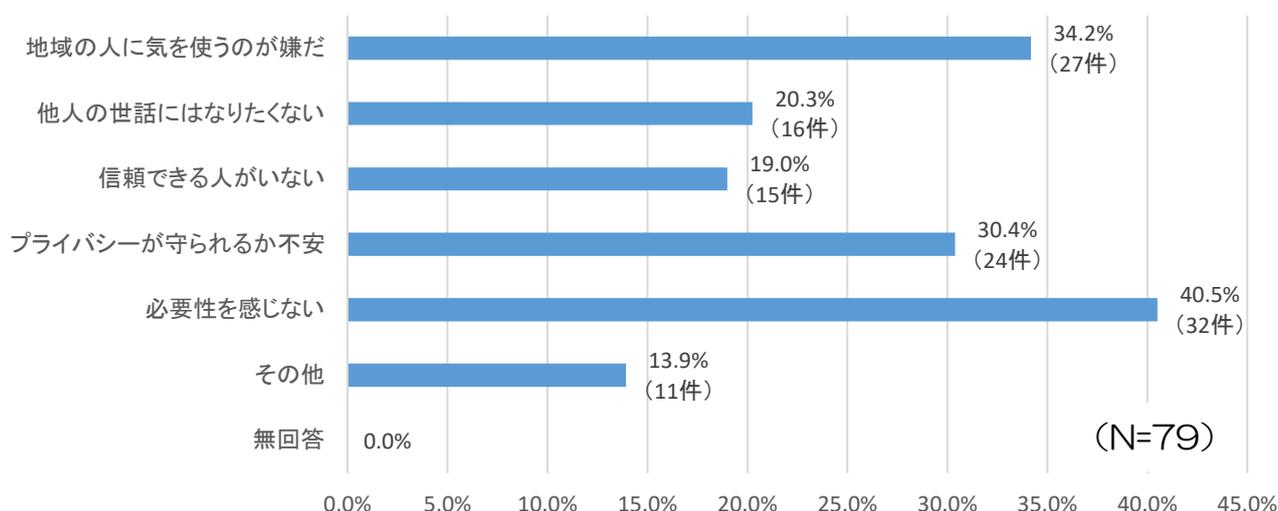


⑤手助けを受けたくない理由（④で「手助けを受けたくない」と答えた方のみ回答）

【複数回答～2つまで】

手助けを受けたくない理由については、「必要性を感じない」が40.5%で最も多く、「地域の人に気を使うのが嫌だ」が34.2%で次いでいます。

「その他」については、「手助けを受けるなら近所の方ではない方が良い」などの回答があります。



性別に見ると、男性は「必要性を感じない」が最も多く、女性は「地域の人に気を使うのが嫌だ」が最も多くなっています。

年齢別に見ると、40歳代で「プライバシーが守られるか不安」が最も多くなっていますが、その他の年代では「必要性を感じない」「地域の人に気を使うのが嫌だ」のどちらかが最も多くなっています。

居住地区別に見ると、「浜小樽地区」「南樽地区」「銭函地区」において、「必要性を感じない」が6割を超えて高くなっています。

○手助けを受けたくない理由（性別・年齢別・居住地区別）

		調査数 (上段:実数) (下段:割合)	近所の方から手助けを受けたくない理由					その他
			が地域 嫌だの 人に 気を 使うの	く他 ない 人の 世話 には なり た	信 頼 で き る 人 が い な い	る プ ラ イ バ シ ー が 守 ら れ な い	必 要 性 を 感 じ な い	
全体		79 100.0	27 34.2	16 20.3	15 19.0	24 30.4	32 40.5	11 13.9
性別	男性	36 100.0	10 27.8	8 22.2	6 16.7	9 25.0	16 44.4	4 11.1
	女性	43 100.0	17 39.5	8 18.6	9 20.9	15 34.9	16 37.2	7 16.3
年齢	10歳代	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	1 100.0	- -
	20歳代	5 100.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	- -	1 20.0	- -
	30歳代	7 100.0	4 57.1	2 28.6	3 42.9	2 28.6	3 42.9	1 14.3
	40歳代	9 100.0	2 22.2	1 11.1	2 22.2	6 66.7	5 55.6	- -
	50歳代	3 100.0	1 33.3	- -	- -	1 33.3	1 33.3	1 33.3
	60歳代	18 100.0	5 27.8	5 27.8	1 5.6	6 33.3	7 38.9	5 27.8
	70歳代	20 100.0	9 45.0	2 10.0	3 15.0	8 40.0	8 40.0	2 10.0
	80歳以上	14 100.0	4 28.6	4 28.6	3 21.4	1 7.1	6 42.9	2 14.3
居住地区	塩谷地区	4 100.0	1 25.0	- -	- -	1 25.0	2 50.0	1 25.0
	高島地区	6 100.0	4 66.7	1 16.7	1 16.7	2 33.3	1 16.7	- -
	長橋・オタモイ地区	11 100.0	4 36.4	3 27.3	1 9.1	4 36.4	5 45.5	2 18.2
	手宮地区	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
	浜小樽地区	2 100.0	1 50.0	- -	- -	2 100.0	2 100.0	- -
	中央地区	6 100.0	1 16.7	2 33.3	1 16.7	2 33.3	2 33.3	1 16.7
	奥沢地区	5 100.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	- -	1 20.0	2 40.0
	南樽地区	6 100.0	2 33.3	1 16.7	1 16.7	1 16.7	4 66.7	- -
	入船地区	6 100.0	3 50.0	3 50.0	2 33.3	3 50.0	1 16.7	1 16.7
	東小樽地区	14 100.0	4 28.6	3 21.4	4 28.6	6 42.9	5 35.7	2 14.3
	朝里地区	9 100.0	2 22.2	1 11.1	3 33.3	1 11.1	4 44.4	1 11.1
	銭函地区	8 100.0	3 37.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	5 62.5	1 12.5

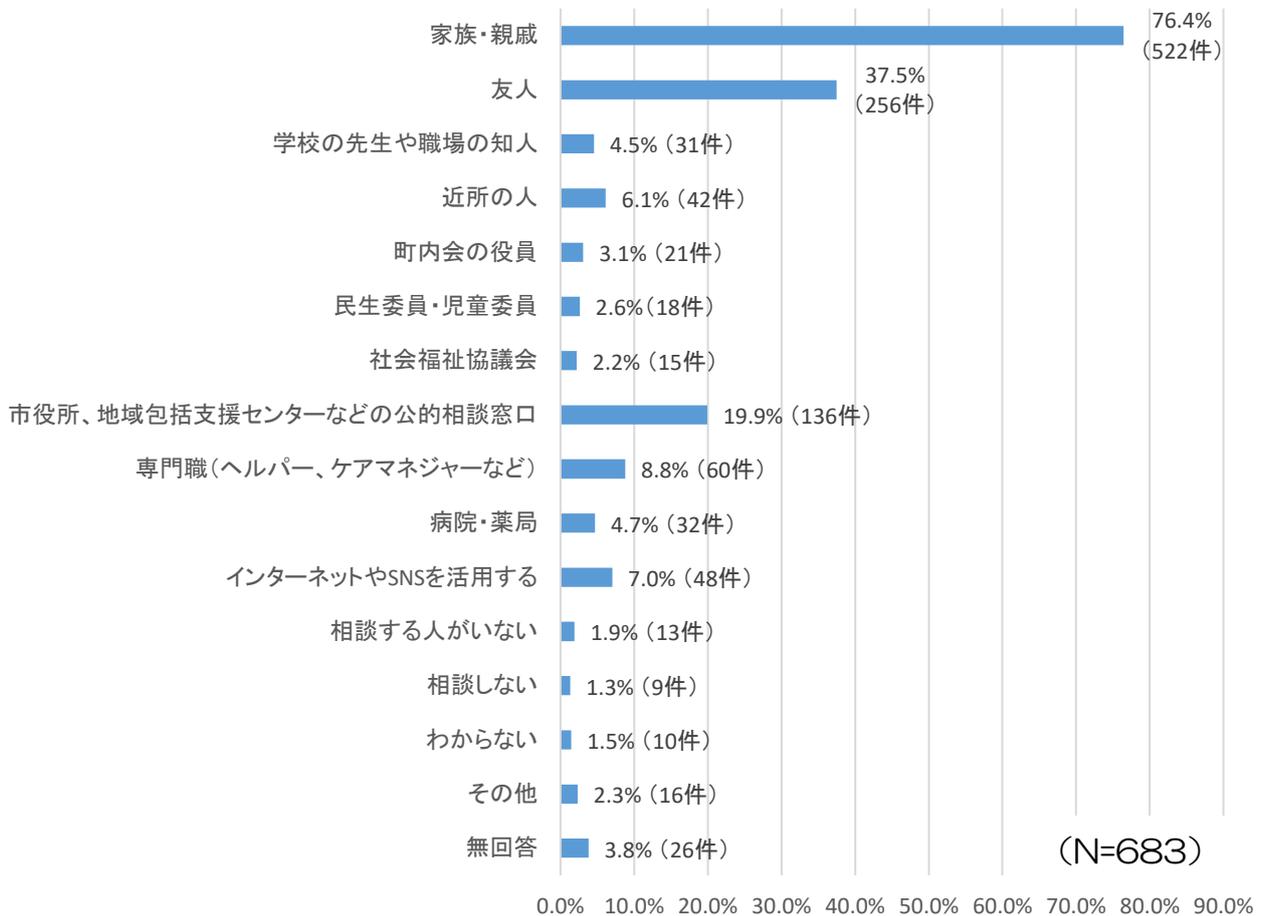
注) は各分類の中で最も高い項目を示す。

4. 困りごとを解決するための相談についてお尋ねします

①相談したい人や場所 【複数回答～2つまで】

困ったときに相談したい人や場所については、「家族・親戚」が76.4%で最も多く、「友人」が37.5%で次いでいます。

「その他」については、「相談したい内容によって異なる」「消費者センター」「たるさぽ」などの回答があります。



性別、年齢別、居住地区別いずれにおいても、「家族・親戚」が最も多くなっています。また、年齢や居住地区を問わず、「相談する人がいない」との回答が一定程度見られます。

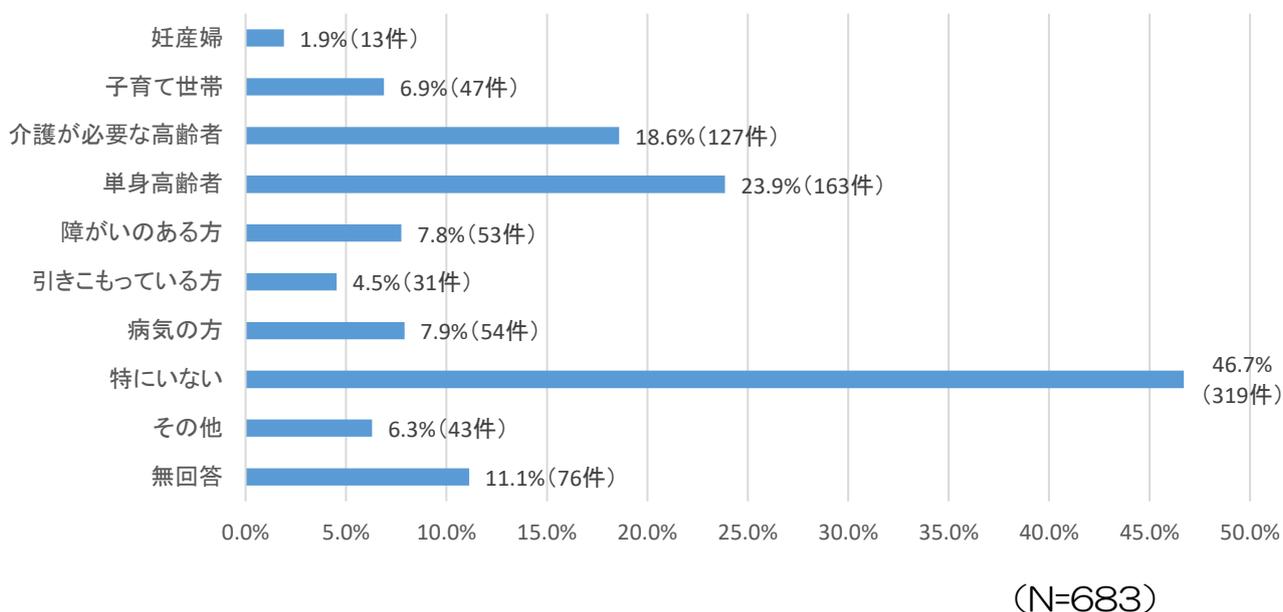
○相談したい人や場所（性別・年齢別・居住地区別）

	調査数 (上段:実数) (下段:割合)	相談したい人や場所															無回答	
		家族・親戚	友人	学校の先生や職場の知	近所の人	町内会の役員	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	談窓口	市役所・地域包括支援センターなどの公的相	アマネジャーなど	専門職（ヘルパー、ケアマネジャーなど）	病院・薬局	SNSを活用する	インターネットや	相談する人がいない		相談しない
全体	683 100.0	522 76.4	256 37.5	31 4.5	42 6.1	21 3.1	18 2.6	15 2.2	136 19.9	60 8.8	32 4.7	48 7.0	13 1.9	9 1.3	10 1.5	16 2.3	26 3.8	
性別	男性	282 100.0	209 74.1	92 32.6	11 3.9	21 7.4	14 5.0	10 3.5	10 3.5	65 23.0	23 8.2	13 4.6	20 7.1	4 1.4	4 1.4	7 2.5	6 2.1	13 4.6
	女性	391 100.0	306 78.3	161 41.2	20 5.1	19 4.9	5 1.3	8 2.0	4 1.0	69 17.6	36 9.2	19 4.9	28 7.2	9 2.3	5 1.3	3 0.8	10 2.6	12 3.1
年齢	10歳代	11 100.0	10 90.9	10 90.9	1 9.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	42 100.0	34 81.0	23 54.8	6 14.3	1 2.4	-	-	-	4 9.5	1 2.4	1 2.4	7 16.7	1 2.4	3 7.1	-	-	-
	30歳代	46 100.0	38 82.6	29 63.0	6 13.0	1 2.2	-	-	-	-	3 6.5	2 4.3	12 26.1	-	1 2.2	-	3 6.5	-
	40歳代	81 100.0	68 84.0	43 53.1	5 6.2	6 7.4	1 1.2	-	1 1.2	10 12.3	1 1.2	1 1.2	8 9.9	1 1.2	1 1.2	3 3.7	1 1.2	-
	50歳代	104 100.0	81 77.9	52 50.0	13 12.5	3 2.9	1 1.0	1 1.0	2 1.9	16 15.4	7 6.7	3 2.9	14 13.5	2 1.9	1 1.0	2 1.9	2 1.9	-
	60歳代	136 100.0	100 73.5	48 35.3	-	8 5.9	2 1.5	4 2.9	3 2.2	39 28.7	14 10.3	6 4.4	5 3.7	4 2.9	1 0.7	2 1.5	5 3.7	3 2.2
	70歳代	134 100.0	97 72.4	36 26.9	-	14 10.4	8 6.0	4 3.0	4 3.0	35 26.1	16 11.9	10 7.5	2 1.5	3 2.2	2 1.5	3 2.2	3 2.2	9 6.7
	80歳以上	120 100.0	88 73.3	13 10.8	-	7 5.8	7 5.8	9 7.5	4 3.3	31 25.8	17 14.2	9 7.5	-	2 1.7	-	-	2 1.7	13 10.8
居住地区	塩谷地区	22 100.0	15 68.2	4 18.2	-	3 13.6	-	-	4.5 27.3	6 13.6	3 4.5	1 4.5	1 4.5	-	-	-	-	2 9.1
	高島地区	40 100.0	34 85.0	13 32.5	2 5.0	-	-	1 2.5	2 5.0	9 22.5	2 5.0	-	4 10.0	1 2.5	-	3 7.5	-	3 7.5
	長橋・オタモイ地区	74 100.0	55 74.3	24 32.4	4 5.4	4 5.4	4 5.4	3 4.1	1 1.4	22 29.7	7 9.5	3 4.1	4 5.4	3 4.1	2 2.7	1 1.4	1 1.4	2 2.7
	手宮地区	29 100.0	19 65.5	11 37.9	-	3 10.3	-	1 3.4	1 3.4	8 27.6	1 3.4	4 13.8	4 13.8	-	-	-	-	1 3.4
	浜小樽地区	27 100.0	22 81.5	6 22.2	1 3.7	3 11.1	1 3.7	-	-	7 25.9	3 11.1	-	-	1 3.7	1 3.7	-	-	1 3.7
	中央地区	93 100.0	71 76.3	38 40.9	6 6.5	5 5.4	3 3.2	4 4.3	2 2.2	18 19.4	8 8.6	6 6.5	5 5.4	1 1.1	2 2.2	2 2.2	2 2.2	1 1.1
	奥沢地区	44 100.0	29 65.9	14 31.8	2 4.5	4 9.1	1 2.3	3 6.8	-	6 13.6	3 6.8	1 2.3	2 4.5	1 2.3	1 2.3	-	1 2.3	3 6.8
	南樽地区	57 100.0	46 80.7	18 31.6	6 10.5	3 5.3	-	1 1.8	-	8 14.0	6 10.5	3 5.3	3 5.3	2 3.5	1 1.8	-	3 5.3	3 5.3
	入船地区	68 100.0	51 75.0	35 51.5	2 2.9	4 5.9	2 2.9	1 1.5	4 5.9	10 14.7	11 16.2	3 4.4	8 11.8	1 1.5	-	-	2 2.9	2 2.9
	東小樽地区	88 100.0	71 80.7	30 34.1	4 4.5	3 3.4	4 4.5	1 1.1	1 1.1	20 22.7	6 6.8	3 3.4	6 6.8	1 1.1	-	3 3.4	2 2.3	2 2.3
	朝里地区	69 100.0	52 75.4	30 43.5	4 5.8	4 5.8	1 1.4	1 1.4	2 2.9	10 14.5	4 5.8	3 4.3	8 11.6	1 1.4	2 2.9	1 1.4	3 4.3	3 4.3
	銭函地区	68 100.0	54 79.4	30 44.1	-	6 8.8	3 4.4	2 2.9	-	12 17.6	6 8.8	5 7.4	3 4.4	-	-	-	2 2.9	3 4.4

注) は各分類の中で最も高い項目を示す。



②困りごとを抱えている人の存在を把握しているか 【複数回答～当てはまるものすべて】
 回答者が把握している地域で困りごとを抱えている人については、「特にいない」
 (46.7%)を除くと、「単身高齢者」が23.9%で最も多くなっています。
 「その他」については、「わからない」「経済的困窮」などの回答があります。



性別に見ると、大きな違いはありません。

年齢別、居住地区別に見ても、大きな違いはなく、「単身高齢者」又は「介護が必要な高齢者」が最も多くなっています。



○困りごとを抱えている人の存在を把握しているか（性別・年齢別・居住地区別）

		調査数	困りごとを抱えている人の存在を把握しているか										
			妊産婦	子育て世帯	介護が必要な高齢者	単身高齢者	障がいのある方	引きこもっている方	病気の方	特にない	その他	無回答	
		(上段:実数) (下段:割合)											
全体		683 100.0	13 1.9	47 6.9	127 18.6	163 23.9	53 7.8	31 4.5	54 7.9	319 46.7	43 6.3	76 11.1	
性別	男性	282 100.0	5 1.8	17 6.0	56 19.9	66 23.4	21 7.4	11 3.9	23 8.2	143 50.7	18 6.4	25 8.9	
	女性	391 100.0	8 2.0	30 7.7	69 17.6	94 24.0	31 7.9	20 5.1	31 7.9	173 44.2	24 6.1	48 12.3	
年齢	10歳代	11 100.0	- -	- -	3 27.3	2 18.2	1 9.1	1 9.1	1 9.1	5 45.5	1 9.1	- -	
	20歳代	42 100.0	6 14.3	11 26.2	14 33.3	15 35.7	11 26.2	6 14.3	7 16.7	18 42.9	2 4.8	- -	
	30歳代	46 100.0	3 6.5	7 15.2	6 13.0	17 37.0	4 8.7	3 6.5	3 6.5	19 41.3	4 8.7	2 4.3	
	40歳代	81 100.0	1 1.2	6 7.4	14 17.3	21 25.9	3 3.7	1 1.2	5 6.2	38 46.9	6 7.4	4 4.9	
	50歳代	104 100.0	1 1.0	8 7.7	22 21.2	23 22.1	7 6.7	5 4.8	6 5.8	51 49.0	14 13.5	6 5.8	
	60歳代	136 100.0	1 0.7	11 8.1	26 19.1	33 24.3	8 5.9	6 4.4	13 9.6	68 50.0	5 3.7	8 5.9	
	70歳代	134 100.0	- -	2 1.5	20 14.9	28 20.9	10 7.5	4 3.0	13 9.7	65 48.5	5 3.7	22 16.4	
	80歳以上	120 100.0	1 0.8	2 1.7	20 16.7	22 18.3	8 6.7	5 4.2	6 5.0	52 43.3	5 4.2	31 25.8	
居住地区	塩谷地区	22 100.0	- -	2 9.1	8 36.4	5 22.7	- -	1 4.5	1 4.5	7 31.8	1 4.5	4 18.2	
	高島地区	40 100.0	1 2.5	1 2.5	5 12.5	6 15.0	1 2.5	3 7.5	1 2.5	24 60.0	2 5.0	4 10.0	
	長橋・オタモイ地区	74 100.0	2 2.7	9 12.2	9 12.2	17 23.0	8 10.8	5 6.8	6 8.1	34 45.9	5 6.8	9 12.2	
	手宮地区	29 100.0	- -	3 10.3	6 20.7	8 27.6	1 3.4	3 10.3	2 6.9	10 34.5	3 10.3	3 10.3	
	浜小樽地区	27 100.0	1 3.7	1 3.7	3 11.1	3 11.1	1 3.7	- -	2 7.4	12 44.4	1 3.7	8 29.6	
	中央地区	93 100.0	1 1.1	5 5.4	14 15.1	25 26.9	10 10.8	3 3.2	7 7.5	49 52.7	6 6.5	9 9.7	
	奥沢地区	44 100.0	1 2.3	1 2.3	7 15.9	10 22.7	2 4.5	2 4.5	5 11.4	20 45.5	1 2.3	7 15.9	
	南樽地区	57 100.0	- -	4 7.0	9 15.8	10 17.5	1 1.8	3 5.3	1 1.8	25 43.9	4 7.0	8 14.0	
	入船地区	68 100.0	1 1.5	5 7.4	15 22.1	22 32.4	5 7.4	3 4.4	4 5.9	30 44.1	5 7.4	5 7.4	
	東小樽地区	88 100.0	4 4.5	8 9.1	23 26.1	18 20.5	11 12.5	4 4.5	9 10.2	41 46.6	8 9.1	6 6.8	
	朝里地区	69 100.0	1 1.4	6 8.7	13 18.8	19 27.5	5 7.2	2 2.9	8 11.6	31 44.9	4 5.8	6 8.7	
	銭函地区	68 100.0	1 1.5	2 2.9	13 19.1	18 26.5	8 11.8	2 2.9	8 11.8	35 51.5	2 2.9	7 10.3	

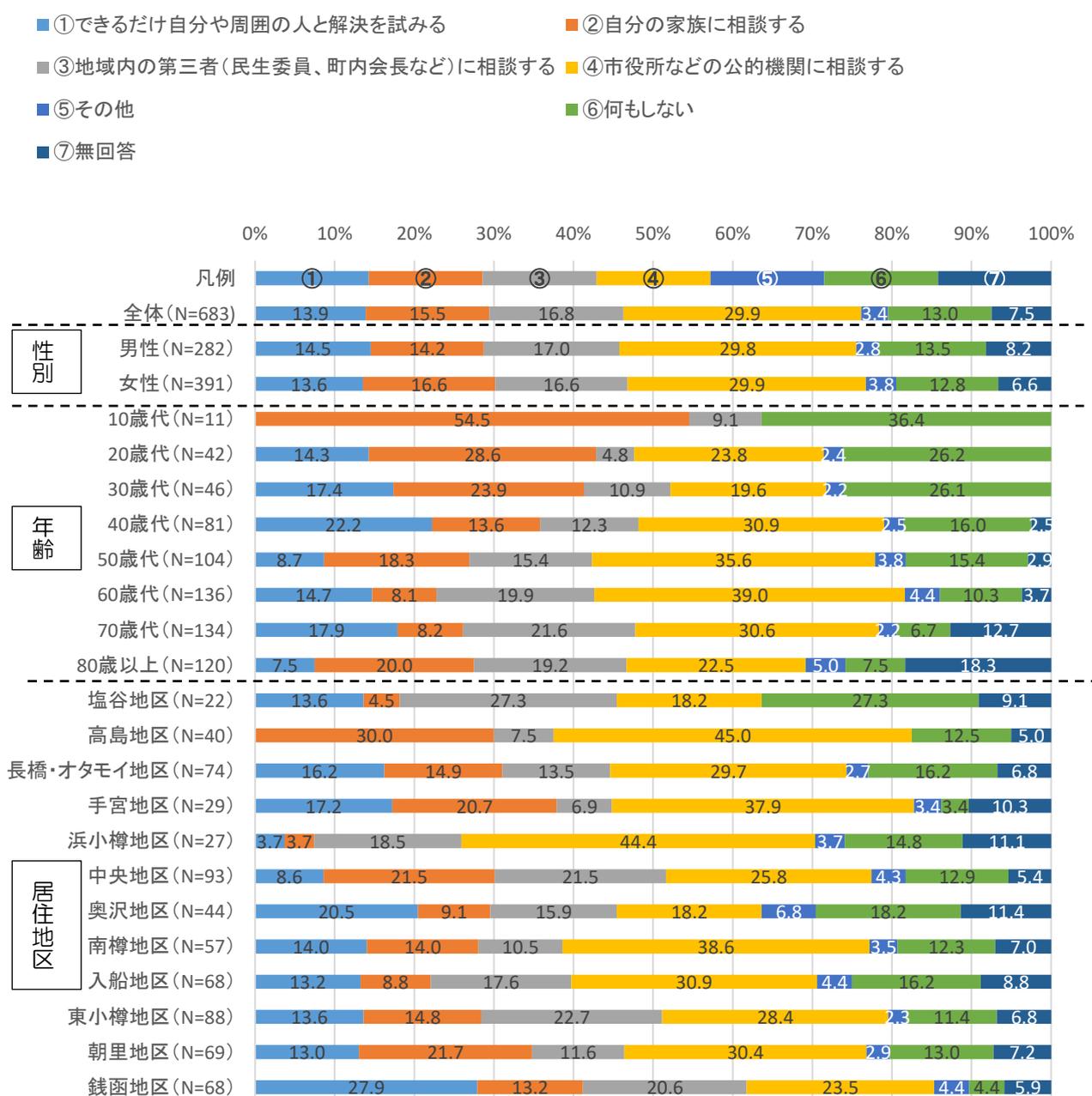
注) は各分類の中で最も高い項目を示す。

③困りごとを抱える人への対応 【単一回答】

地域に困りごとを抱える人を見つけた場合の対応については、「市役所などの公的機関に相談する」が29.9%で最も多く、「地域内の第三者（民生委員、町内会長など）に相談する」が16.8%で次いでいます。

「その他」については、「困りごとの内容によって異なる」「まず見かけたら声をかける」「本人の意思を確認した上で関係機関へ」などの回答があります。

性別での違いはありませんが、高年層ほど地域内の第三者や市役所などの公的機関に相談する割合が増える傾向にあります。多くの地区で「市役所などの公的機関に相談する」が最も多くなっていますが、奥沢地区、銭函地区については、「できるだけ自分や周囲の人と解決を試みる」が最も多くなっています。

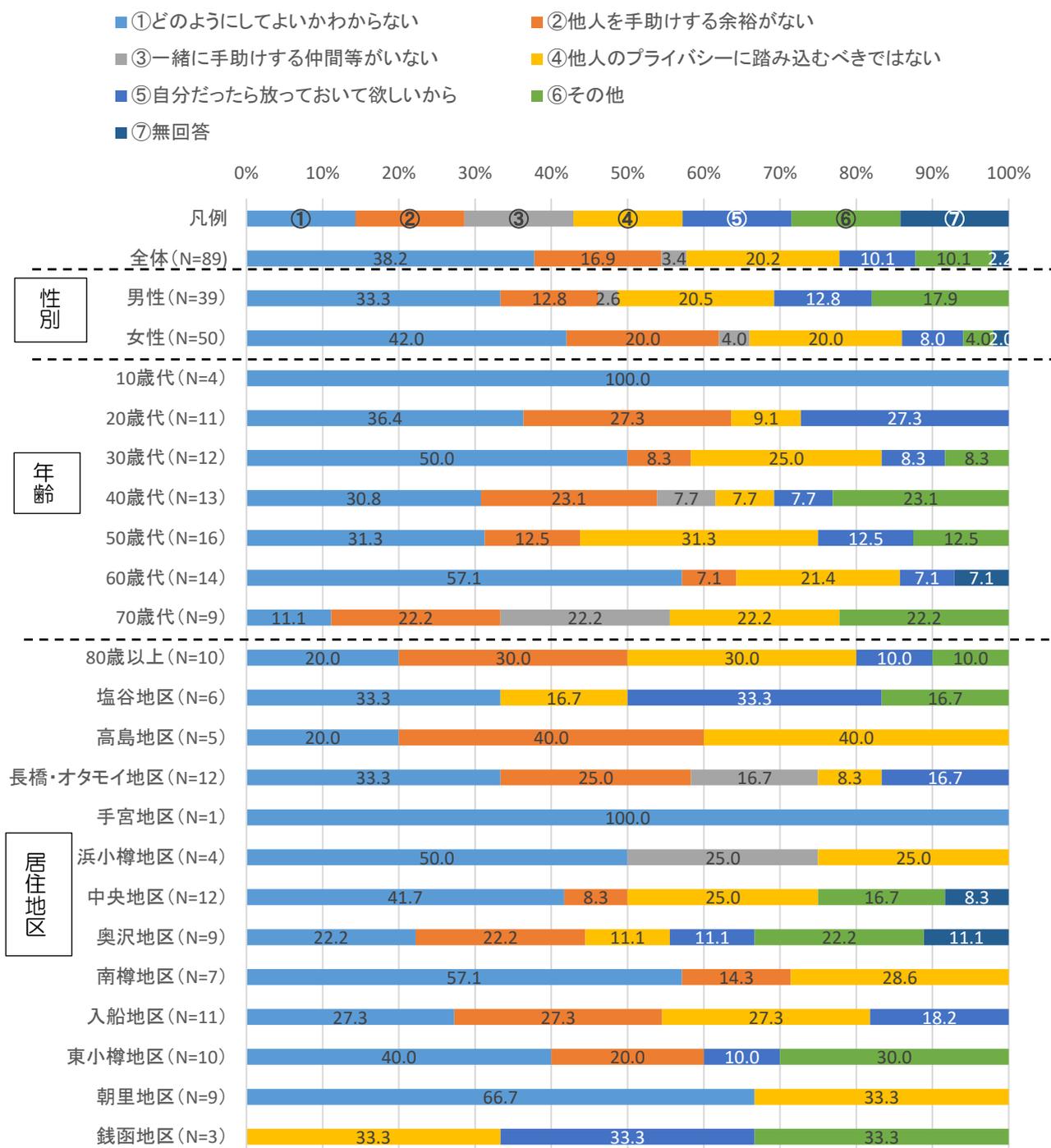


④何もしない理由（③で「何もしない」と答えた方のみ回答） 【単一回答】

地域で見つけた困りごとを抱えた人に対して何もしない理由については、「どのようにしてよいかわからない」が38.2%で最も多く、「他人のプライバシーに踏み込むべきではない」が20.2%で次いでいます。

「その他」については、「自分に手助けを求めているかわからない」「本人が助けて欲しいと言うまで待つべき」「責任が持てない」などの回答があります。

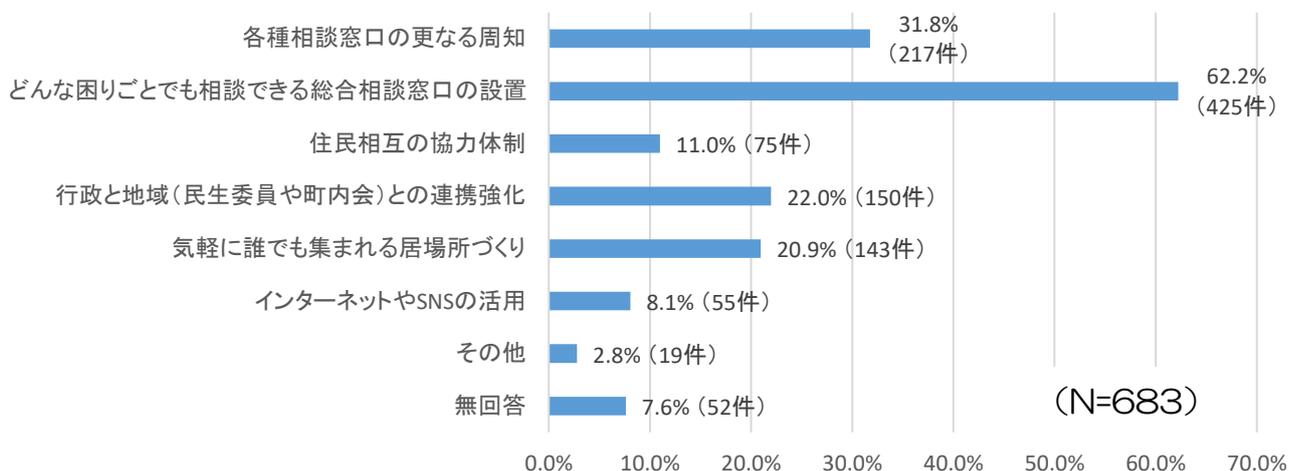
性別での大きな違いはありませんが、年齢別に見ると70歳代以上で「他人を手助けする余裕がない」と回答する割合が多くなっています。



⑤困ったときに相談しやすい環境づくり 【複数回答～2つまで】

困ったときに相談しやすい環境づくりについては、「どんな困りごとでも相談できる総合相談窓口の設置」が62.2%で最も多く、「各種相談窓口の更なる周知」が31.8%で次いでいます。

「その他」については、「行政まで行くのは少し勇気が必要。何でもボランティアがあると気軽に話せる」「窓口職員の態度も重要」「自宅への訪問」などの回答があります。



性別に見ると、いずれも「どんな困りごとでも相談できる総合相談窓口の設置」が最も多くなっていますが、「気軽に誰でも集まれる居場所づくり」を求める声は女性の方が多くなっています。

年齢別に見ると、どの年代においても「どんな困りごとでも相談できる総合相談窓口の設置」が最も多くなっていますが、若年層ほど「インターネットやSNSの活用」が多くなっています。

居住地区別に見ると、どの地区においても「どんな困りごとでも相談できる総合相談窓口の設置」が最も多くなっていますが、長橋・オタモイ地区、奥沢地区、朝里地区で「気軽に誰でも集まれる居場所づくり」が25%を超える回答率となっています。

○困ったときに相談しやすい環境づくり（性別・年齢別・居住地区別）

		調査数	困ったときに相談しやすい環境づくり							無回答
			各種相談窓口の更なる周知	きどんな総合相談窓口の設置	住民相互の協力体制	内政と地域の連携強化	所気づくりに誰でも集まれる居場所	活用インターネットやSNSの	その他	
		(上段:実数) (下段:割合)								
全体		683 100.0	217 31.8	425 62.2	75 11.0	150 22.0	143 20.9	55 8.1	19 2.8	52 7.6
性別	男性	282 100.0	93 33.0	180 63.8	36 12.8	68 24.1	37 13.1	27 9.6	12 4.3	20 7.1
	女性	391 100.0	122 31.2	243 62.1	37 9.5	79 20.2	105 26.9	28 7.2	7 1.8	27 6.9
年齢	10歳代	11 100.0	4 36.4	6 54.5	- -	1 9.1	4 36.4	3 27.3	1 9.1	- -
	20歳代	42 100.0	14 33.3	25 59.5	5 11.9	8 19.0	12 28.6	9 21.4	- -	- -
	30歳代	46 100.0	14 30.4	34 73.9	4 8.7	6 13.0	13 28.3	10 21.7	3 6.5	- -
	40歳代	81 100.0	26 32.1	59 72.8	8 9.9	14 17.3	16 19.8	11 13.6	3 3.7	2 2.5
	50歳代	104 100.0	43 41.3	68 65.4	11 10.6	25 24.0	19 18.3	14 13.5	4 3.8	- -
	60歳代	136 100.0	49 36.0	91 66.9	10 7.4	36 26.5	31 22.8	6 4.4	1 0.7	4 2.9
	70歳代	134 100.0	34 25.4	83 61.9	17 12.7	25 18.7	25 18.7	2 1.5	2 1.5	21 15.7
	80歳以上	120 100.0	32 26.7	57 47.5	18 15.0	33 27.5	22 18.3	- -	5 4.2	20 16.7
居住地区	塩谷地区	22 100.0	5 22.7	11 50.0	1 4.5	7 31.8	3 13.6	4 18.2	1 4.5	2 9.1
	高島地区	40 100.0	14 35.0	26 65.0	2 5.0	8 20.0	6 15.0	1 2.5	1 2.5	5 12.5
	長橋・オタモイ地区	74 100.0	19 25.7	49 66.2	9 12.2	19 25.7	19 25.7	8 10.8	1 1.4	3 4.1
	手宮地区	29 100.0	8 27.6	22 75.9	- -	8 27.6	6 20.7	2 6.9	- -	2 6.9
	浜小樽地区	27 100.0	9 33.3	18 66.7	1 3.7	5 18.5	5 18.5	1 3.7	2 7.4	2 7.4
	中央地区	93 100.0	31 33.3	59 63.4	8 8.6	23 24.7	19 20.4	5 5.4	1 1.1	7 7.5
	奥沢地区	44 100.0	14 31.8	22 50.0	6 13.6	7 15.9	12 27.3	3 6.8	2 4.5	5 11.4
	南樽地区	57 100.0	21 36.8	35 61.4	6 10.5	12 21.1	10 17.5	9 15.8	1 1.8	5 8.8
	入船地区	68 100.0	23 33.8	40 58.8	11 16.2	14 20.6	18 26.5	6 8.8	1 1.5	4 5.9
	東小樽地区	88 100.0	24 27.3	49 55.7	11 12.5	19 21.6	18 20.5	8 9.1	4 4.5	8 9.1
	朝里地区	69 100.0	21 30.4	48 69.6	7 10.1	11 15.9	18 26.1	4 5.8	3 4.3	6 8.7
	銭函地区	68 100.0	27 39.7	44 64.7	12 17.6	16 23.5	9 13.2	4 5.9	1 1.5	3 4.4

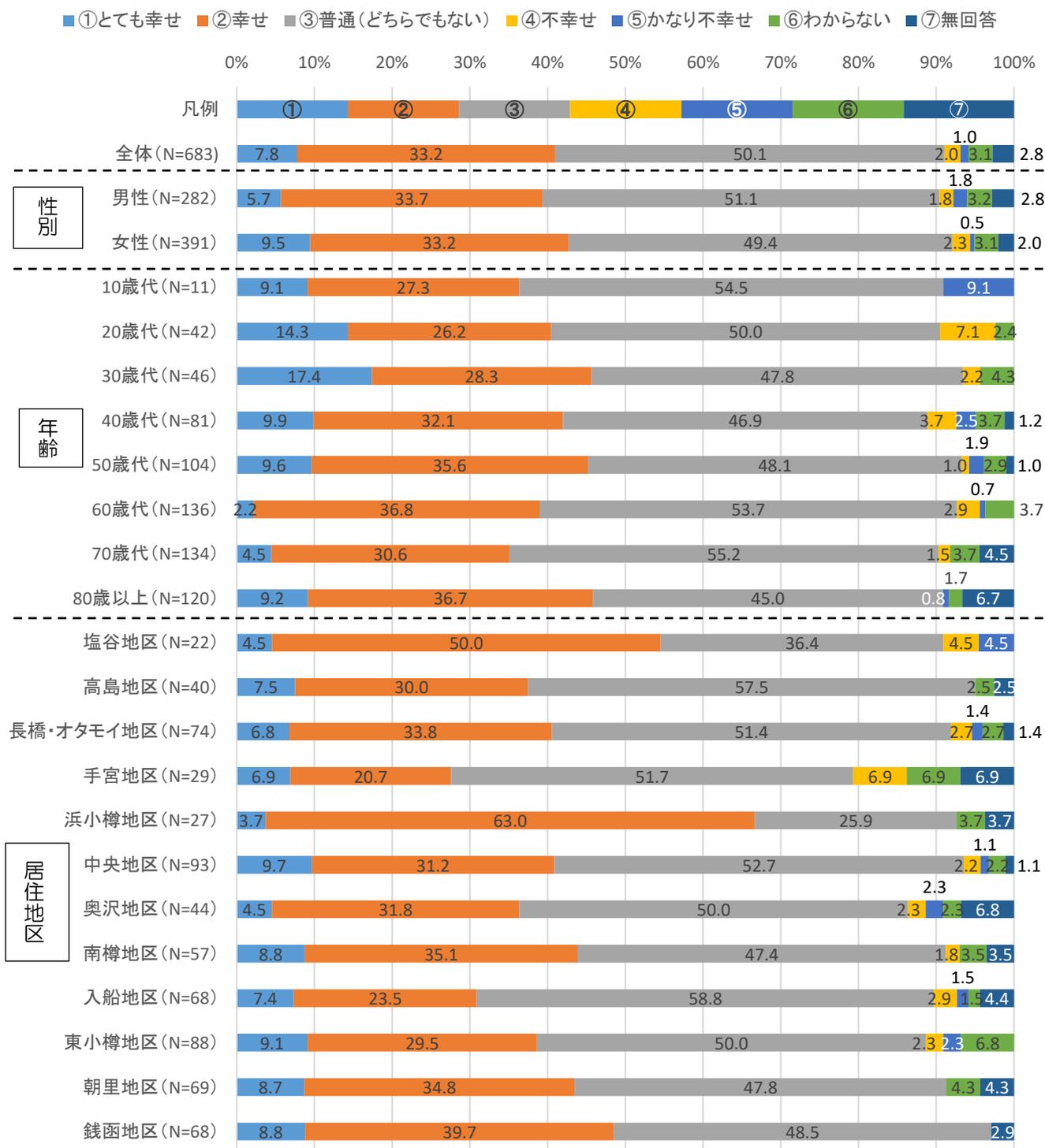
注) は各分類の中で最も高い項目を示す。

5. しあわせな地域づくりに向けにお尋ねします

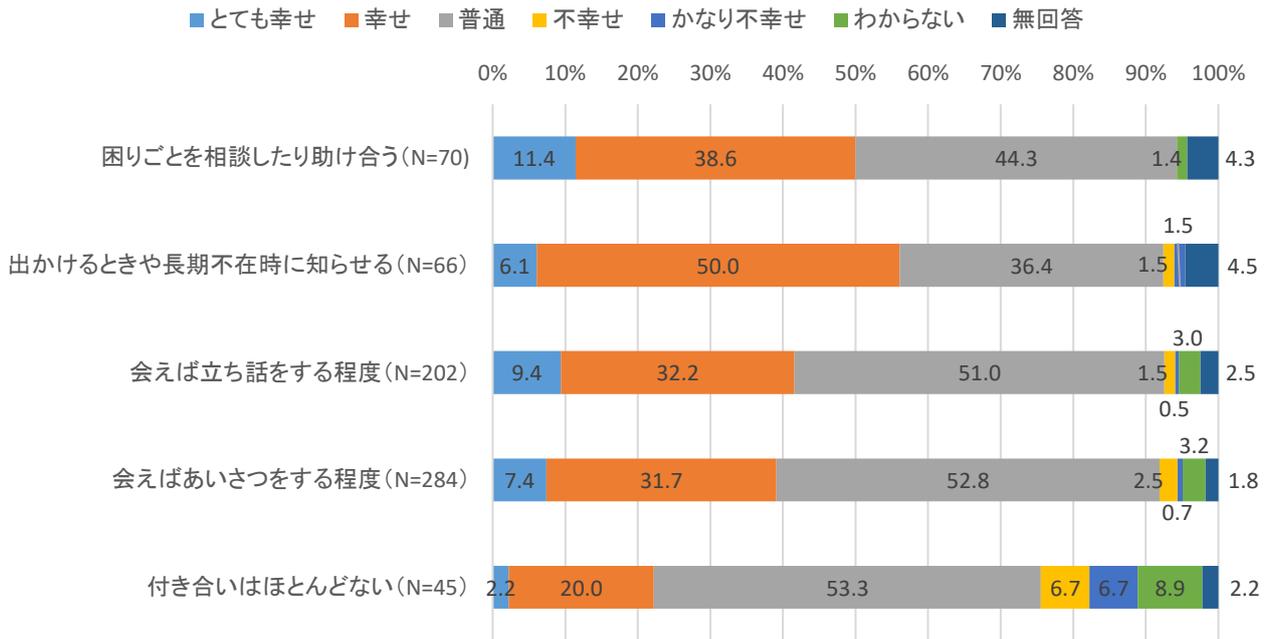
①現在の幸福度 【単一回答】

現在お住まいの地域で暮らしていてどのくらい幸せかについては、「普通」が50.1%で最も多く、「幸せ」が33.2%で次いでいます。

性別に見ると大きな違いはなく、年齢別に見ると「とても幸せ」と回答する割合は30歳代で最も多く、居住地区別に見ると浜小樽地区で「幸せ」が63.0%と多くなっています。

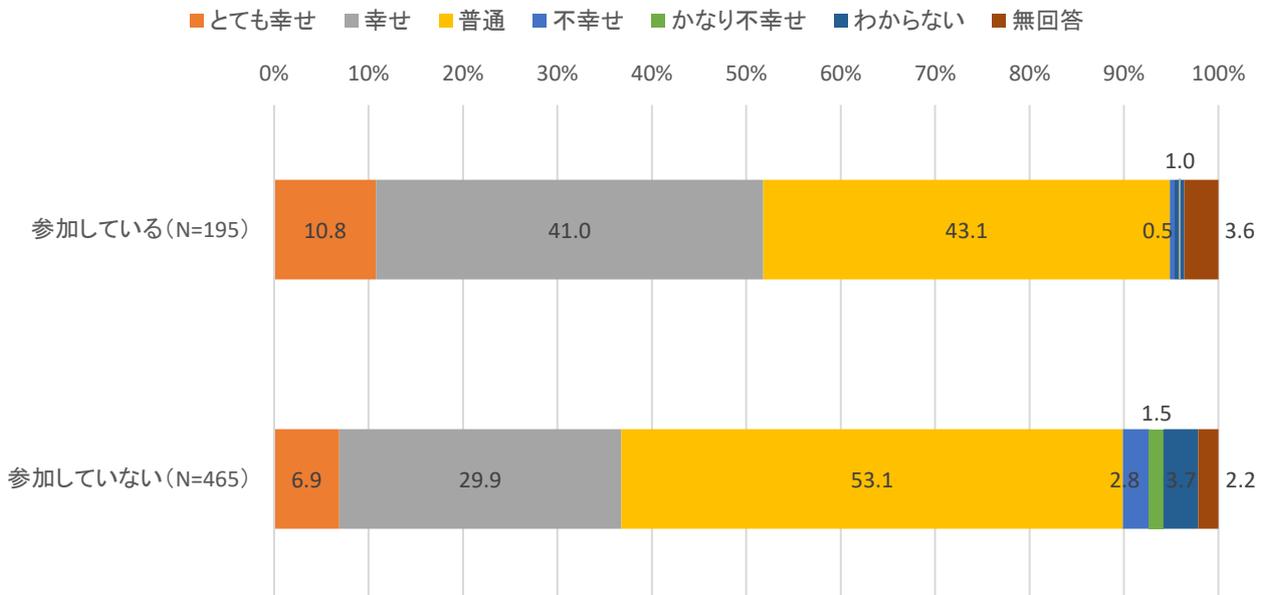


● 「幸福度」と「ご近所付き合いの程度」との関係



近所との付き合いがあり、かつ、付き合いの程度が深くなると「とても幸せ」「幸せ」と回答する割合が多くなっています。また、「付き合いがほとんどない」と回答した方については、他の回答に比べ「不幸せ」「かなり不幸せ」「わからない」と回答する割合が多くなっています。

● 「幸福度」と「地域活動への参加の有無」との関係

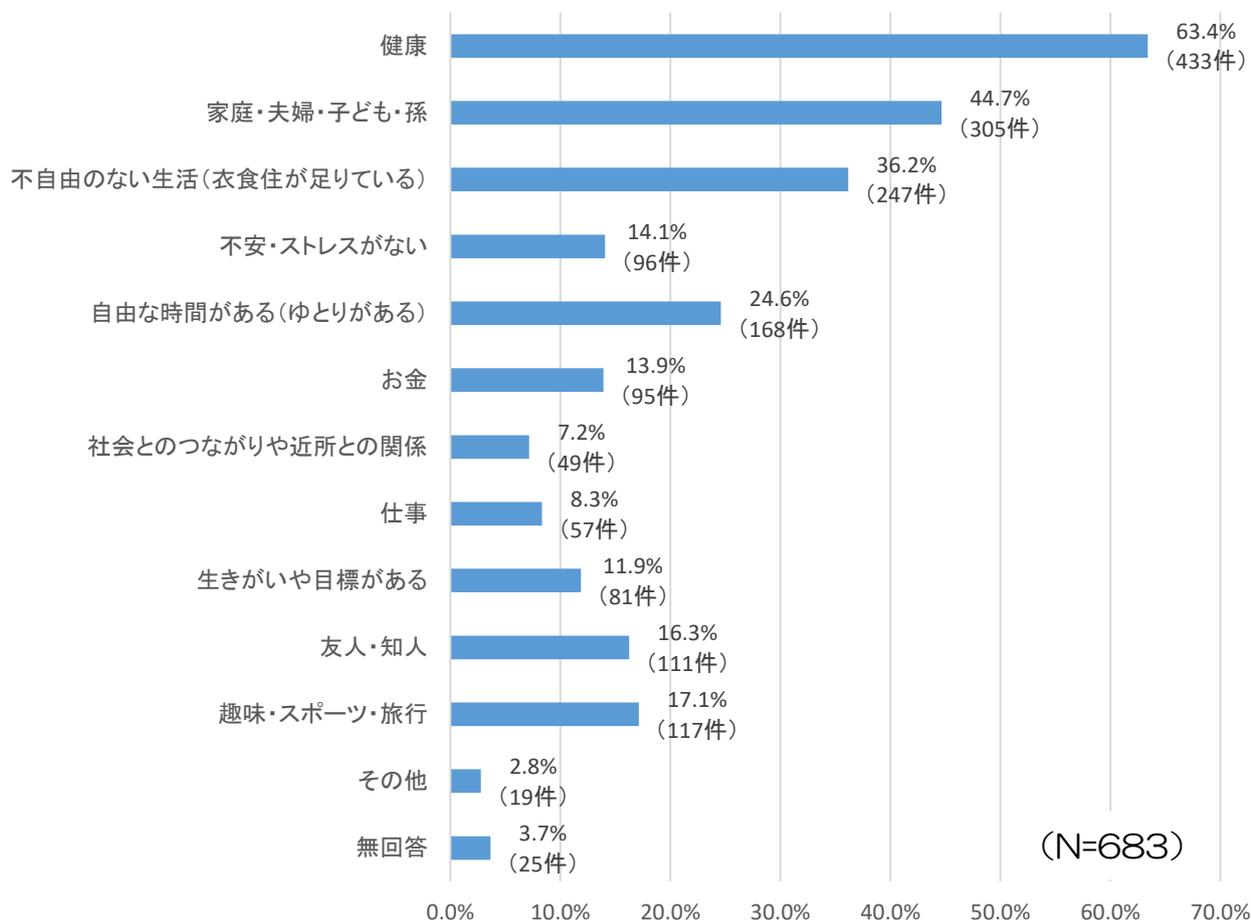


「参加している」方のうち、51.8%が「とても幸せ」「幸せ」と回答しているのに対し、「参加していない」方の回答率は36.8%に留まっており、地域活動へ参加している方は、参加していない方に比べると、「幸福度」が高い傾向にあります。

②幸福度を感じる要因 【複数回答～3つまで】

幸せを感じる要因については、「健康」が63.4%で最も多く、「家庭・夫婦・子ども・孫」が44.7%で次いでいます。

「その他」については、「日常の生活が続けられること」「全て大事な要因で3つに絞るのは難しい」「海や山など綺麗なところに住んでいる」などの回答があります。



性別に見ると、男女とも「健康」が最も多くなっています。

年齢別に見ると、40歳代以外は「健康」が最も多くなっていますが、40歳代のみ「家庭・夫婦・子ども・孫」が最も多くなっています。

居住地区別に見ると、どの地区においても「健康」が最も多くなっていますが、塩谷地区は「家庭・夫婦・子ども・孫」が22.7%と他の地区に比べかなり低くなっています。



○幸福度を感じる要因（性別・年齢別・居住地区別）

	調査数 (上段:実数) (下段:割合)	幸福度を感じる要因													
		健康	家庭・夫婦・子ども・孫	が不自由のない生活（衣食住）	不安・ストレスがない	自由な時間がある（ゆとり）	お金	の社会とのつながりや近所と	仕事	生きがいや目標がある	友人・知人	趣味・スポーツ・旅行	その他	無回答	
全体	683 100.0	433 63.4	305 44.7	247 36.2	96 14.1	168 24.6	95 13.9	49 7.2	57 8.3	81 11.9	111 16.3	117 17.1	19 2.8	25 3.7	
性別	男性	282 100.0	188 66.7	121 42.9	89 31.6	40 14.2	76 27.0	38 13.5	16 5.7	29 10.3	32 11.3	34 12.1	55 19.5	11 3.9	9 3.2
	女性	391 100.0	237 60.6	181 46.3	156 39.9	55 14.1	90 23.0	56 14.3	33 8.4	28 7.2	49 12.5	77 19.7	61 15.6	8 2.0	15 3.8
年齢	10歳代	11 100.0	6 54.5	1 9.1	6 54.5	2 18.2	1 9.1	2 18.2	-	-	2 18.2	4 36.4	3 27.3	-	-
	20歳代	42 100.0	23 54.8	14 33.3	22 52.4	11 26.2	14 33.3	8 19.0	1 2.4	1 2.4	5 11.9	6 14.3	4 9.5	3 7.1	-
	30歳代	46 100.0	28 60.9	27 58.7	20 43.5	3 6.5	9 19.6	9 19.6	2 4.3	4 8.7	6 13.0	12 26.1	6 13.0	2 4.3	-
	40歳代	81 100.0	42 51.9	44 54.3	33 40.7	16 19.8	23 28.4	18 22.2	4 4.9	8 9.9	12 14.8	11 13.6	12 14.8	1 1.2	1 1.2
	50歳代	104 100.0	78 75.0	49 47.1	41 39.4	15 14.4	23 22.1	13 12.5	6 5.8	15 14.4	13 12.5	6 5.8	20 19.2	5 4.8	-
	60歳代	136 100.0	93 68.4	68 50.0	46 33.8	18 13.2	29 21.3	18 13.2	10 7.4	21 15.4	15 11.0	25 18.4	27 19.9	1 0.7	3 2.2
	70歳代	134 100.0	85 63.4	52 38.8	36 26.9	18 13.4	35 26.1	17 12.7	16 11.9	6 4.5	16 11.9	29 21.6	28 20.9	1 0.7	9 6.7
	80歳以上	120 100.0	70 58.3	47 39.2	41 34.2	12 10.0	33 27.5	9 7.5	10 8.3	2 1.7	12 10.0	18 15.0	16 13.3	6 5.0	11 9.2
居住地区	塩谷地区	22 100.0	12 54.5	5 22.7	7 31.8	3 13.6	5 22.7	3 13.6	4 18.2	3 13.6	5 22.7	1 4.5	7 31.8	1 4.5	1 4.5
	高島地区	40 100.0	24 60.0	18 45.0	20 50.0	4 10.0	4 10.0	5 12.5	-	4 10.0	3 7.5	3 7.5	7 17.5	2 5.0	4 10.0
	長橋・オタモイ地区	74 100.0	55 74.3	28 37.8	31 41.9	11 14.9	20 27.0	7 9.5	6 8.1	9 12.2	7 9.5	14 18.9	13 17.6	1 1.4	2 2.7
	手宮地区	29 100.0	16 55.2	11 37.9	10 34.5	6 20.7	9 31.0	12 41.4	2 6.9	3 10.3	3 10.3	2 6.9	3 10.3	2 6.9	1 3.4
	浜小樽地区	27 100.0	17 63.0	13 48.1	11 40.7	3 11.1	8 29.6	3 11.1	2 7.4	2 7.4	3 11.1	3 11.1	5 18.5	-	1 3.7
	中央地区	93 100.0	57 61.3	45 48.4	34 36.6	14 15.1	19 20.4	16 17.2	3 3.2	6 6.5	13 14.0	16 17.2	13 14.0	2 2.2	1 1.1
	奥沢地区	44 100.0	27 61.4	20 45.5	13 29.5	6 13.6	9 20.5	6 13.6	4 9.1	2 4.5	5 11.4	7 15.9	6 13.6	2 4.5	3 6.8
	南樽地区	57 100.0	33 57.9	27 47.4	16 28.1	7 12.3	9 15.8	7 12.3	7 12.3	5 8.8	5 8.8	11 19.3	11 19.3	1 1.8	3 5.3
	入船地区	68 100.0	38 55.9	28 41.2	26 38.2	10 14.7	24 35.3	9 13.2	4 5.9	3 4.4	8 11.8	14 20.6	7 10.3	2 2.9	4 5.9
	東小樽地区	88 100.0	51 58.0	40 45.5	23 26.1	11 12.5	21 23.9	14 15.9	7 8.0	9 10.2	13 14.8	23 26.1	23 26.1	2 2.3	2 2.3
	朝里地区	69 100.0	51 73.9	39 56.5	30 43.5	11 15.9	21 30.4	6 8.7	3 4.3	3 4.3	6 8.7	7 10.1	11 15.9	2 2.9	1 1.4
	銭函地区	68 100.0	48 70.6	28 41.2	26 38.2	10 14.7	18 26.5	5 7.4	7 10.3	8 11.8	10 14.7	10 14.7	11 16.2	2 2.9	2 2.9

注) は各分類の中で最も高い項目を示す。

③地域の「良いところ」と「悪いところ」

【困りごと・相談に関して】

<良いところ>

- ◇ 町内会役員が親身に対応している。
- ◇ 困っている人に気軽に手を差し伸べる人が多い。

<悪いところ>

- ゴミ収集の時間がはっきりわからない。ステーションが遠い。ゴミ出しマナーが悪い。
- 騒音（犬、2日おきの除草機の音。アパートの車の出入り）。
- カラスが多すぎてうるさい。
- 近所の学校、コンビニ周辺にゴミが多い。
- 救急車や車の音がうるさい（国道沿いにいるため）。

【交通・買い物・暮らしやすさに関して】

<良いところ>

- ◇ スーパー、コンビニ、バス停が近い。金融機関、病院施設。
- ◇ 交通の便利が良い。
- ◇ 除雪が行き届いている。
- ◇ 食料品店やドラッグストア、銀行、病院、郵便局が豊富にあり買い物に困らない。
- ◇ 近くにデイサービスがある。
- ◇ 自分自身歩けるので、出掛けているため、地域の方が声をかけてくれる。
- ◇ 近所と声かけができる。
- ◇ ネット販売やスーパーでの買物時の自宅配送がスムーズ。
- ◇ 小中学校・市役所・体育館・市民会館・病院他公共施設が身近にあり便利。
- ◇ 景色も利便性も良い。小樽らしく山・坂・海のメリハリがある。
- ◇ 生活に必要なすべての事が、徒歩で用事を足せる。
- ◇ 雪を運ぶ場所がある。
- ◇ 公園が近く、子供の声が聞こえる。行事がある。
- ◇ 観光客や市民などが楽しそうに歩いていて、道路もきれいで歩きやすい。
- ◇ 将来、車を手放した時でも、生活は徒歩にて対処できる。

<悪いところ>

- JRの線路の音が気になる。
- 車がないと買い物に不便。
- バス通りに歩道がない。歩道が狭くて危ない。歩道の雑草が道を狭くしている。
- 雪の捨て場がない。
- スーパーなどお店が少ない。遠い。
- 産婦人科が少ない。出産場所が少ない。

- 夜になると暗くなるので出歩けない。
- 空き家の除雪。空き地。
- 子供の学校が遠い。
- ポストがない。
- 最終バスが23時にはないこと。
- バスの本数が減り不便（特に土・日・祝）。
- 自家用車を持たざるを得ず、高齢者はとても苦労している。
- 身近に色んな世代が集う場所が無い。
- 冬期間タクシーを利用するが、途中で降ろされる。
- コミュニティーホール、音楽や映画など上演出来る施設がない。
- 路上駐車が多すぎる。
- 人口減少。働くところがない。
- 少子化対策に本気で取り組んでほしい。
- 市の情報が入ってこない。
- 横断歩道の白線が見にくい。
- 道路脇の草が大きくなって見通しが悪い。
- 春先の雪解け後の道路整備が不十分。
- 車を駐車できるお店が少ない。駐車場代が高い。
- 道路の除雪した重たい雪のかたまりを置いていかれると処置に苦労する。

【安心・安全に関して】

<良いところ>

- ◇ 安全、安心感がある。自然災害が少ない。治安が良い。
- ◇ 街路灯が多く夜間でも明るい。
- ◇ 安心して生活ができる。

<悪いところ>

- 津波の心配。
- 夜は暗く不審者が出そう。駆け込む場所がない。
- 土砂災害のハザードマップがなく災害時への不安がある。
- 時々不審者が出たりするので、治安上不安がある。
- 海岸の整備、波除けなど足りない。
- 次々と隣近所の人が引越し、空き地になると物騒さを感じる。
- 違法駐車される。
- 停電でも、大雪の時でも、町会は何の音沙汰もない。
- 路上にカメラがない。
- 崖崩れの恐れがある場所にいる。
- 空き地の草木が大きくなり衛生的に気持ちが悪い。
- FMが入らない（災害時に不安）。

【近隣・町内・地域に関して】

<良いところ>

- ◇ 静かで暮らしやすい。
- ◇ 近所の方々との仲が良い。古い住民同志の付き合い方。除雪の協力。
- ◇ 町内会の活動がある。知らなくても、みんなが笑顔であいさつできる。
- ◇ 地域の催し物がある。花火大会、お祭り。
- ◇ 出来ない自分に強要しないで、町内の仕事をやってくれている。
- ◇ 近くに除雪や草刈、ごみステーション周りの草刈、清掃等などをしてくれる人がいる。
- ◇ 地域の人と気軽に相談・集まることのできる会（茶話会）に行ける。
- ◇ 歩道の花の手入れがされていてきれいにしている。
- ◇ 若い世代が町内会活動に参加している。
- ◇ 冬期間除雪の会を作っている(12月から3月)。
- ◇ 町内会の活動を知らせてくれている。
- ◇ 町会が人間関係の絆を深める為、祭り、七夕、盆踊り、体育の日活動を実施している。
- ◇ プライバシーが守られている。
- ◇ 困っている以外深く立ち入ってこない。
- ◇ 団地に相談室があり単身高齢者等に声をかけている。
- ◇ 町内会の行事など割と自由に参加できる。
- ◇ 挨拶をすれば必ず返してくれる。
- ◇ ゴミ出しが守られている。
- ◇ 老人クラブがしっかり組織され、7つの同好会活動で豊かに活動し、地域の高等支援学校も連携して老人宅の除雪、清掃その他ボランティアで結ばれている。

<悪いところ>

- 近所付き合いが無い。
- 単身高齢者が多い。
- 子供、若者が遊べる場所が少ない。
- 子供が多いわりに、児童会館がないこと。
- ゴミの仕分けができない人がいる。
- 地域活動に積極的に参加する人がいない。
- 窃盗やいたずら書き、ポイ捨てなどが時々ある。
- 広い公園がない。公園が少なく、整備されていない。
- 近所の人を除雪の仕方が悪い
- あまり誰が住んでいるかわからない。
- 民泊出入りでうるさい、気持ち悪い。
- マンション、アパートが増えてつながりが薄くなっている。
- 廃校された学校がそのまま。
- いたずら書きなど増えている。

- 道路に雪を捨てる人がおり、冬期間不便である。
- 喫茶店のような人の集まることのできる店がない。
- 三百数十戸数の町会でありながら会館等の集会所を持ってないでいる。

【その他】

＜良いところ＞

- ◇ 静かな所。自然が豊か。水がおいしい。海も山も近い。
- ◇ 公園が近くにあり静かである。
- ◇ 高台に住んでいるため、眺めが大変素晴らしい。
- ◇ 近くに朝里川公園があり、自然が多く静かな環境。緑が多い。
- ◇ スポーツが楽しめます。
- ◇ 自然が身近にありリラックスできる。景色が良い。
- ◇ 川があるので、少しでも雪を捨てる事が出来る。

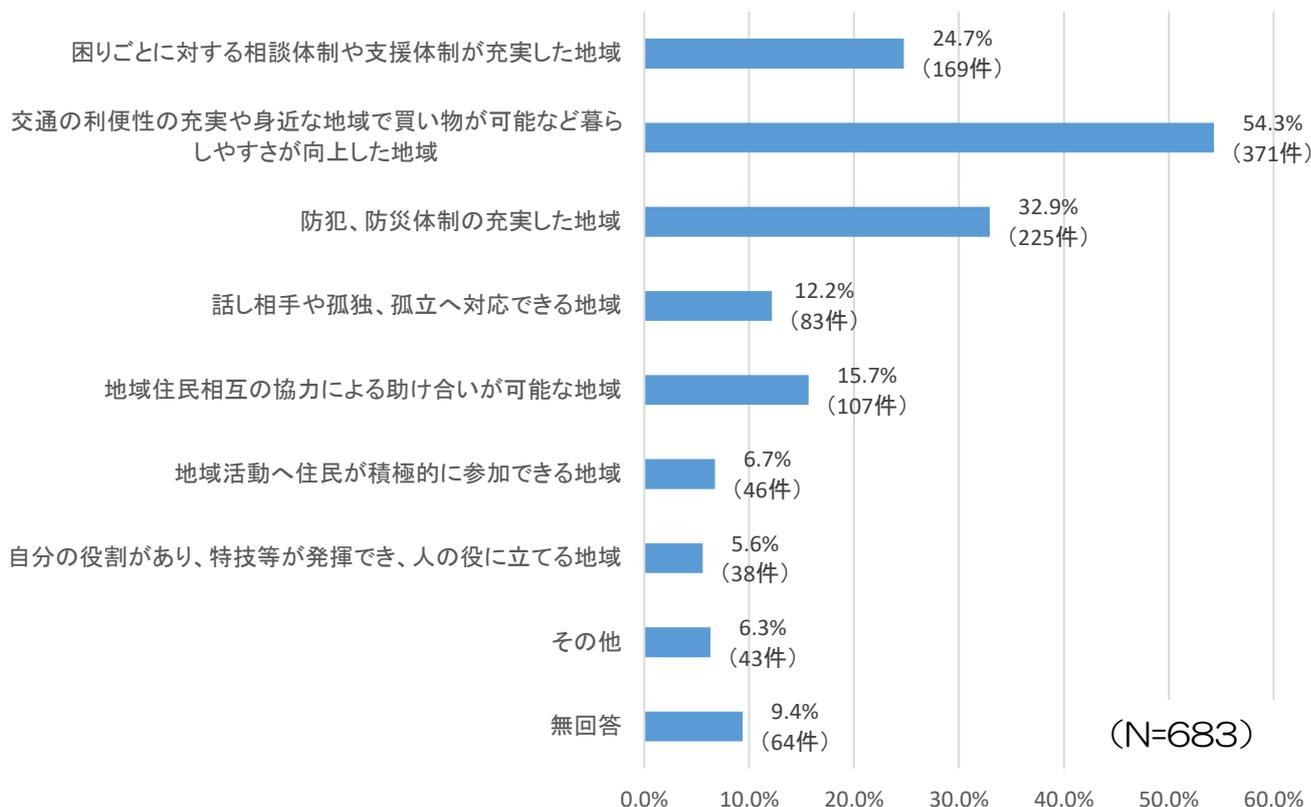
＜悪いところ＞

- 町内単位での自主性がない。
- 観光客に頼りすぎ。
- 公園、道端など雑草だらけ美化されていない。
- 文化芸術面に関心が薄いのでは。
- 観光客のマナーが悪い。観光都市であるのに、市民の多数が無関心である。
- 野良猫が多い。野鳥が増えていて、フンなど害が嫌だ。
- 塩害が激しい。

④どのような地域が望ましいか 【複数回答～2つまで】

どのような地域になると幸福度が上がるかについては、「交通の利便性の充実や身近な地域で買い物が可能など暮らしやすさが向上した地域」が54.3%で最も多く、「防犯、防災体制の充実した地域」が32.9%で次いでいます。

「その他」については、「子どもがいても働きやすい地域」「子どもが思い切り遊べる地域」などの回答があります。



性別に見ると、大きな違いはありません。

年齢別に見ると、いずれの年代においても「交通の利便性の充実や身近な地域で買い物が可能など暮らしやすさが向上して地域」が最も多くなっています。

居住地区別に見ると、いずれに地区においても「交通の利便性の充実や身近な地域で買い物が可能など暮らしやすさが向上して地域」が最も多くなっていますが、朝里地区のみ「防犯、防災体制の充実した地域」も同率で多くなっています。

○どのような地域が望ましいか（性別・年齢別・居住地区別）

	調査数 (上段:実数) (下段:割合)	どのような地域が望ましいか									
		支困 援り ご す で が 充 実 し た 地 域 体 制 や	し地交 や域通 さ買の が利 向物 上が し充 した実 地等 域な 身 近 な	域防 犯、 防 災 体 制 の 充 実 し た 地	で話 きし 相 手 や 孤 独 、 孤 立 へ 対 応	け地 合住 い民 が相 可互 能の な協 地力 による 助	加地 域活 動へ 住 民 が 積 極 的 に 参	域発 自 分 の 役 割 が あ り 、 特 技 等 が	そ の 他	無 回 答	
全体	683 100.0	169 24.7	371 54.3	225 32.9	83 12.2	107 15.7	46 6.7	38 5.6	43 6.3	64 9.4	
性別	男性	282 100.0	73 25.9	159 56.4	88 31.2	32 11.3	42 14.9	26 9.2	11 3.9	26 9.2	27 9.6
	女性	391 100.0	93 23.8	206 52.7	134 34.3	51 13.0	63 16.1	20 5.1	26 6.6	17 4.3	36 9.2
年齢	10歳代	11 100.0	1 9.1	9 81.8	3 27.3	1 9.1	1 9.1	1 9.1	2 18.2	- -	- -
	20歳代	42 100.0	4 9.5	27 64.3	16 38.1	6 14.3	6 14.3	2 4.8	1 2.4	5 11.9	1 2.4
	30歳代	46 100.0	11 23.9	27 58.7	20 43.5	5 10.9	4 8.7	2 4.3	5 10.9	5 10.9	1 2.2
	40歳代	81 100.0	22 27.2	41 50.6	28 34.6	10 12.3	7 8.6	5 6.2	7 8.6	6 7.4	4 4.9
	50歳代	104 100.0	32 30.8	54 51.9	33 31.7	12 11.5	14 13.5	6 5.8	11 10.6	6 5.8	3 2.9
	60歳代	136 100.0	37 27.2	84 61.8	55 40.4	20 14.7	22 16.2	10 7.4	5 3.7	6 4.4	9 6.6
	70歳代	134 100.0	27 20.1	67 50.0	40 29.9	20 14.9	36 26.9	14 10.4	1 0.7	5 3.7	18 13.4
	80歳以上	120 100.0	33 27.5	57 47.5	27 22.5	9 7.5	15 12.5	6 5.0	5 4.2	10 8.3	27 22.5
居住地区	塩谷地区	22 100.0	7 31.8	13 59.1	5 22.7	2 9.1	4 18.2	- -	1 4.5	2 9.1	3 13.6
	高島地区	40 100.0	9 22.5	25 62.5	12 30.0	4 10.0	4 10.0	1 2.5	- -	2 5.0	7 17.5
	長橋・オタモイ地区	74 100.0	16 21.6	43 58.1	28 37.8	12 16.2	10 13.5	5 6.8	2 2.7	7 9.5	7 9.5
	手宮地区	29 100.0	11 37.9	14 48.3	5 17.2	2 6.9	4 13.8	1 3.4	5 17.2	2 6.9	4 13.8
	浜小樽地区	27 100.0	4 14.8	15 55.6	10 37.0	5 18.5	5 18.5	- -	1 3.7	3 11.1	3 11.1
	中央地区	93 100.0	37 39.8	44 47.3	35 37.6	10 10.8	9 9.7	9 9.7	11 11.8	6 6.5	5 5.4
	奥沢地区	44 100.0	5 11.4	19 43.2	9 20.5	11 25.0	8 18.2	4 9.1	1 2.3	4 9.1	7 15.9
	南樽地区	57 100.0	11 19.3	25 43.9	21 36.8	6 10.5	12 21.1	5 8.8	4 7.0	3 5.3	6 10.5
	入船地区	68 100.0	16 23.5	35 51.5	22 32.4	11 16.2	13 19.1	4 5.9	2 2.9	- -	7 10.3
	東小樽地区	88 100.0	17 19.3	50 56.8	27 30.7	5 5.7	14 15.9	9 10.2	4 4.5	8 9.1	8 9.1
	朝里地区	69 100.0	18 26.1	33 47.8	33 47.8	6 8.7	9 13.0	5 7.2	5 7.2	4 5.8	4 5.8
	銭函地区	68 100.0	17 25.0	52 76.5	17 25.0	9 13.2	15 22.1	3 4.4	1 1.5	1 1.5	3 4.4

注) は各分類の中で最も高い項目を示す。

⑤望ましい地域となるための方策

～幸福度が高い望ましい地域になるためには、何が必要か～

【1. 困りごとに対する相談体制や支援体制が充実した地域】

- ◆ 気軽に相談できる地域の相談窓口があるといい。相談するところがどこか分からず困っている。
- ◆ 相談に行けない方のための訪問サービスなどあればいい。
- ◆ 身近な相談者。地域の広い範囲でなく、地区の巡回相談員（ボランティア協力）。
- ◆ 市役所の行政機関をもっと町中に増やしてほしい。町内会との連携、SNSで相談窓口の紹介（発信）を密にして情報の共有が図られるようにしてほしい。
- ◆ まず困ったことがあったら「ここに電話」というツール。
- ◆ 行政や地域で誰がどんな相談に応じているのか、明確だといい。

【2. 交通の利便性の充実や身近な地域で買い物が可能など暮らしやすさが向上した地域】

- ◆ 子どもが遊べる無料の場所。
- ◆ バスの本数の増加や、買い物した時の配達地域の拡大。高齢者の送り迎え。
- ◆ 乗り合いタクシーの導入など。
- ◆ 駅前広場の整備。昔からの市場の活性化。
- ◆ 220円より安い値段で短距離を走るバス。23時台のバス。
- ◆ 大型スーパーの誘致。宅配等の整備。
- ◆ 市民のための割引タクシーチケット（不便な地域限定）。

【3. 防犯、防災体制の充実した地域】

- ◆ 行政と地域との連携を強くする。人と人のつながり。
- ◆ 防災（津波）サイレン等の設置。
- ◆ 警察官、消防団の定期的な巡回強化。
- ◆ 防犯カメラの設置
- ◆ 子ども達が犯罪に巻き込まれないような環境づくり。不審者・車等の通報。
- ◆ 各地域に備蓄倉庫を設置する。
- ◆ 街灯を増やし明るい歩道を作る。
- ◆ 防犯カメラの設置・不審車両、不法駐車を取り締り。
- ◆ 地域ごとのハザード情報の充実（マップやコミュニティー）。

【4. 話し相手や孤独、孤立へ対応できる地域】

- ◆ カフェのような交流が出来る場。
- ◆ 気軽に安価で食事ができる、行くことが苦にならない場所の創設。
- ◆ いろんな世代が交流できる場所が身近にあると良い。
- ◆ 近所や町内会で、見守り、声かけができるような環境づくり。
- ◆ 身近な場所に地域の人が集まりやすい場所。いつも人がいる。

【5. 地域住民相互の協力による助け合いが可能な地域】

- ◆ 地域住民の定期的な集まり。
- ◆ 地域行事のお知らせ（定期的に配布されているお知らせ）
- ◆ 交流の場！子どもも参加できればもっと近くになれる気がします。
- ◆ 町内会組織の活性化、多くの世代が参画する組織に変えるべき。
- ◆ 除雪等出来ない人の手助け。
- ◆ 地域（町内）の地図がほしい。聞かれたときに家等教えられる。
- ◆ 警察OBさんの活動と協力。
- ◆ 高齢者や障がい者等への地域の協力体制を作る。
- ◆ 住民一人ひとりの意識改革。小さなことからコツコツと、まずは「あいさつ」から。
- ◆ 困りごとがあった時にまずどこに連絡できるかを周知する。

【6. 地域活動へ住民が積極的に参加できる地域】

- ◆ 一斉地域清掃など協力して、地域を良くする体制づくり。
- ◆ 定年後など、地域活動に長く参加できていなかった人が参加できる工夫。
- ◆ 住民が気軽に集まれる場所があるとよい。
- ◆ 若い方が積極的に参加してほしい。
- ◆ 町内会の活動。仕事をしていても参加できる時間、曜日等。
- ◆ 回覧板を回すだけでなく個別訪問して独居の方、子育ての親に町内行事の参加を促す。
- ◆ 地域コミュニティの再構築。コミュニティスクールの機能を生かして、地域住民が参画できるイベントを開催。地域の課題を解決する活動を地域全員が一丸となって取り組む。

【7. 自分の役割があり、特技等が発揮でき、人の役に立てる地域】

- ◆ 可能なボランティア活動等の情報の発信、SNSなど。
- ◆ 特技がある人とその特技を必要とする人をマッチングするための情報提供の場を増やす。
- ◆ 市の広報誌等でボランティア等あれば教えてほしい。

- ◆ ICT、ネット等の活用。
- ◆ 地域の便利な場所に気軽に出入り自由な店があると良い。

⑥地域の困りごと・⑦解決策

～課題、困りごとや地域で気になること。解決に向けてどのようにしたら良いか～

【子ども・子育て】

<子育て・家庭（遊び）>

- 気軽に外で遊べる場所がない。
- 保育園に通っていない子たちが関われる場所が少ない。
- 保育所問題。働く職場への復帰が難しい人達がいる。
- 気軽に参加できる場があり、子どもが少しでも母親から手が離れる時間が必要。
- 気軽に参加できるような子どもサークル等の充実。
- 就学前の子どもを室内で遊ばせることが出来る公共の場所が少ない。
- 近くに児童館がなく、天気が悪い日、遊び場に困っている児童がいる。
- 病気の子どもの預けられる所があまり無い。

<学校>

- 小中学校内や、他校とのトラブルが増えている。
- 子供の学校に不登校の子がいる。
- 通学路が狭い。遊び場が少ない。
- スクールゾーン冬季時置き雪。
- 大人が積極的に声かけして、子どもたちも学校からの指導で挨拶を交わす。
- 図書館の絵本、児童書が少なすぎます。
- 学校任せの子育て体制～地域ぐるみの子育て支援、コミュニティスクールを取り入れるべき。
- 子どもの放課後の見守り。
- 学校（PTA）と地元の行事に参加できる協力体制を作る。
- 高校生からの相談窓口。

<その他（少子化）>

- 産婦人科が少ない。
- 子どもが少ない（少子化）遊ぶ場所がない。
- 若者、子どもの減少。地域の将来に不安がある。展望が見出せない。
- 子どもを預ける所が少ない。
- 孤立して子育てしている親が多いせいか、虐待等が増えている。
- 幼稚園が増えて欲しい。通える場所に1カ所しかない。
- 子育て世代が多く、それぞれの母親が子育ての悩みを抱えていると思われる。

- 地域で定期的に子育てサロンが開催されれば良いと思う。
- 子育てのサポートが少ないように感じる。
- スポーツ、音楽など場所がないと困る。
- 学区が広すぎて、徒歩通学ができない子がいる。
- 少子化によるクラスの減少・学校の廃校・PTAの存続。

○解決策

- ☞ 放課後児童クラブを安心して預けられる場所に。
- ☞ 子育てに関しては、個人が金銭的に負担するのではなく、子育てをしない人たちも、子ども税などで責任を分かち合うべきです。お年寄りに対する年金などは、無条件で全員が責任を分かち合っているのですから。
- ☞ 子育て世帯には住宅を無償提供するなど思い切った策を。
- ☞ 他の市町村で成功した例を参考に。
- ☞ サンモール商店街を活性化してほしい。

【高齢・介護】

<高齢>

- 長崎屋の1Fにある様な場所が色々なところがあれば。
- 除雪弱者の増加～冬季間の生活道路確保。
- 孤独死の増加～高齢者世帯との連絡が常に取りれるようIoTの活用、普及。
- 該当世帯の内容把握及び連絡網等の整備。
- 町内会の存続（必要性はあるが、ボランティアには限界がある）。
- 入院・施設などの受け入れがスムーズに対応できるよう対策を考えてほしい。
- 挨拶など声かけを忘れずにする。
- 高齢の免許を返納した方に、タクシーチケットを支給するなど。

<独居（1人暮らし）>

- 高齢単身者の増加。見回り。もっと声かけが必要。
- 自分の親への関心がない。一人で暮らすことが出来ないことに気付けない。
- 心配な方がいる区域には、見守り活動を毎朝近くの方が訪ねるなど役割を頼んでも良いのでは。
- 気軽に訪ねて行って元気などの確認ができない。

<困りごと>

- 認知症の症状があるため受け入れられず、トラブルの原因になっている人達の解決策がわかるとよい。
- 近所も高齢が進み、除雪も若い人に負担がかかっている。
- 高齢者には、あまりにも歩きにくい坂道。雪投げ。
- 家族での介護は限界があり必要になった時すぐに入所できる施設の充実を願う。
- 福祉の気軽な相談窓口。

- 薬局まで薬を受け取りに行けない人がいる。
- 食品販売車の巡回と周知で、坂の上やへき地の人の買物の助けが必要。
- 年配者に対する社会生活の説明。自分勝手な年配者が多い。

○解決策

- ☞ 高齢者の生きがいの場所、普段の声かけに予算を付け充実した政策をどんどんやる。
- ☞ 高齢の方が多く、町とか市全体で困っていきそうな状況を見つけたら進んで手を差しのべるようになっていったらより明るくあたたかい市になるのではないか。そのためには、学生の教育の場でも、その意識を高める授業や話し合いを増やしたり、手助けすることは恥ずかしいことじゃないっていう心を、小樽人にまず広められたらと思ったりします。きっと援助した方も幸せで嬉しくてあたたかい気持ちに案外なったりしたりして…と思ったりもしたりして。
- ☞ 高齢者はじめどんなことを必要としているのか、ニーズの把握がまず必要。

【障がい】

<サービス>

- 小・中学校の特別支援学級の充実。
- 身体障がい者の（若い）施設がないのもそうですが、その他のサービス利用も利用できそうで全く使えない。
- 障がい者なので1人住まいで、買物とかもう少し楽になれば良いと思う。

<バリアフリー（施設・設備）偏見・差別>

- バリアフリーの不徹底。
- 身体内部の障がい者への偏見。
- 駅にエレベーターがない。
- 災害時、他の住民と一緒に避難場所にいられない人が多くいると思う。
- 近くのスーパーにスロープがなく車イスの方が不便である。
- 道路を舗装してほしい。健常者でも歩きづらい。
- バリアフリーのお店、住宅、道路まだまだ足りていない。
- 駐車場の障がい者スペースを健常者が利用。

<障がいボランティア>

- 障がい者の対応に意識改革が地域の人達に必要なと思う。
- 好きで障がいを持つ人はいない！日々の声かけで良くなる人がいる。
- 障がい者の仕事を増やしてほしい。
- 誰もが1人立ちできるための就活支援と生活費を稼げるだけの仕事に就けること。
- 患いの似ている人同士の語らいの場（集い、サークル・クラブ）を設けてほしい。

【住環境】

<環境・老朽化・動物>

- 空き家の放置、売り家が少し目につく。地域に閉塞感がある。
- 周囲にホテルが増え、日照が悪くなった。
- 住宅の老朽化、賃貸物件の家賃が高い。
- 鳥が増えて気持ち悪い。窓や壁が汚れて健康被害を感じる。
- 高齢一人暮らしの家庭が増加。更に長期入院中なのか不在の家。
- カラスにエサをあげる高齢者もいる。
- ポイ捨て。清掃活動にもっともっと力を入れてほしい。

○解決策

- ☞ ゴミ置場にカラスが嫌いなキラキラ光るものを設置する。
- ☞ 熊の看板の設置。
- ☞ 空き家や空き部屋をリフォームしてカフェにする。
- ☞ 古い家を壊した空き地をコインパーキングにする。
- ☞ 新しいマンションの下やまわりに気軽に寄れるお店を増やす。
- ☞ 子育て世帯には住宅を無償提供する。
- ☞ 空家対策の一つとしてシェアハウスの考えを推進する。

<困りごと（除雪・ゴミ・買い物・交通など）>

- 冬の除雪対策の重要性。私道への除雪援助。雪捨て場がない。
- 小樽築港駅前のバス停が遠くなる。
- ゴミステーションのマナーが悪い。ゴミのポイ捨て。カラス対策。
- 除雪ができなくなれば、住み続けることは出来なくなると考えている。
- 除雪時期を事前に知りたい。冬の除雪についての情報サイトがほしい。
- 冬期間の歩道の除雪が行き届かず、年寄りに不親切だと思う。
- 冬の期間の除雪、屋根の雪下ろしがいつまで自分自身でできるかが心配。
- 落ち葉の処理。
- 無料巡回バス。

○解決策

- ☞ 日頃から市役所と地域との話ができる機会があると良い。
- ☞ 助け合える、コミュニケーションが取れる、そんな街づくりがしていけたら良い。
- ☞ 小樽市としてはコンパクトの町づくりを考えるとありますが、自分の家で長く住まいをすると現在地から離れたくないです。とにかく、今の小樽市は毎年人口が減り、高齢者の町となりつつある状況であるため、もっと行政がテキパキと何事においても実行しないと。
- ☞ 市民参加の対策会議を設置する。
- ☞ 困りごとコールセンターの充実化。
- ☞ 若者を小樽に留めるような取組を推進。
- ☞ 土日（どちらか）窓口を開いてほしい。
- ☞ ゴミの始末など整備。

- ☞ 不法投棄に防犯カメラを本当に動作させるべきと。美しい街づくりを提唱したい。
- ☞ 空家のリフォームと解体。
- ☞ 路線変更でバスが乗りづらくなりました。
- ☞ 公共のマナーに関するポスターやチラシは見慣れた頃には刷新した方が良い。
- ☞ 外にタバコの吸殻、プラゴミ、スーパーのゴミ箱等にオムツを捨てる人がいる。
- ☞ ゴミをまともに出せない人をしっかり取り締まってほしい。

<近隣・町内>

- 隣人の住人が中国人であり、畑も庭も草ボウボウで、勝手に中国人に小樽の土地を売却してほしくない。
- 地域情報を立看板などで周知する。行政、警察（交番）、町会などの情報。
- パトロールを増やす（特に夜間）
- JR朝里駅に外国人の観光客がたくさん来ているが、道を塞いだり、家の敷地に勝手に入り込んでいる。

○解決策

- ☞ ちょっとした気づかい、親切、思いやりをもって生活すること。時間をつくって、色々な活動に参加したいと思いますが、具体的な事がわかりません。若い人、中年、高齢者の意見、話し合う機会を設けることが出来る場所を提案して、交流をもっともっと持っていられるよう対策を考えて下さい。お互いに何を望むか。これからの時代を過ごしやすく、心の安らぐ生活が出来る様に一人ひとり努力が必要だと思います。
- ☞ 目の前のことにしっかり目を向けなければいけません。お互いに信頼されなければ一歩を踏み出すことは困難です。そのためには自分自身が日々の生活に自信を持つことでしょうか。
- ☞ 住民間の関わりが持てるような取組が増えれば良いと思います。
- ☞ 周りと仲良くしながら助け合っているとっています。
- ☞ 各地域や町内会で抱える課題、問題点はそれぞれです。市役所は小樽市全体押しなべて市政を進めるだけではなく、地域ごとに着目して、その地域特有の支援をしていくべきかと思っています。
- ☞ 平常時は、あいさつをする程度の付き合いでも緊急時には自然と助け合うと思います。地域の活動には参加しなくても隣近所では助け合うことができます。
- ☞ 民生委員の方がすぐ近くなので力強いです。
- ☞ 現在、実際解決を図るにも、人的・金銭的にも厳しい状況であるため、難しいと感じています。が、頑張って何かの相談できるための窓口は、町会を介さない独立した機関としての設置を望みます。住民参加に対して、守秘義務が守れないと住民は安心して参加はしないのではないのでしょうか。
- ☞ 未舗装道路に関して、市道認定を受ける為の道幅が確保されていない箇所が数ヶ所あることがネックとなっているので、認定の基準緩和をしてもらいたい。

○解決策

- ☞ まずは実践。やってみると課題問題が出て新たな素地も創造できると思う。
- ☞ 地域で助け合うことも大切ですが、多くの人が幸せと思える地域づくりは、行政側が小樽市の実態を正しくおさえ、予算を必要と思われる部分に分配して行ってください。
- ☞ 市にお金が入る政策が必要です。
- ☞ 観光税を整備、観光客等増加のための政策を考える。(北運河の整備により新しい商店街を作る。ホテルを作る。など)
- ☞ 北運河のPRを。
- ☞ まずは役所の部署が現場(地域)をしっかり把握し、情報を各人から収集すべきだ。自分たちの足で歩いて、問題点や課題を確認し役所が対応策をまとめるべきだと思う。
- ☞ 公園について、小樽市の公園遊具は少な過ぎ、子ども達に夢を与えるものであって欲しい、他の自治体の公園を見てほしい。
- ☞ 観光客が増えた事でゴミの問題が深刻化されてきている。
- ☞ 道路に吸いながら大量に捨ててあり、モラルの問題も大きい、ゴミ箱がないと観光客はゴミを捨てるのに困るのではないかな。
- ☞ 地域活動を向上させるためには、活動に尽力する人に対する謝礼や利益を設け、活動している人としていない人を差別化するくらいが必要だと思う。
- ☞ 地域で希望者が得意なことの登録をして、困った方が依頼をして、その代償としてポイント制でクーポン券が発行され買い物ができる。

【地域活動・ボランティア】

<ボランティア>

- ボランティア活動に参加したいが、どのようなものがあるのかわからない。
- ボランティア活動の一覧や予定などを街中に貼っておくとか、新聞に載せるなど。
- 色々な人が目につくように情報発信すべき。
- 小さな子どものときから地域活動・ボランティアに参加させる制度等作るべき。
- 交通安全活動等に参加する。
- 時代背景によるボランティアに対する考え方の変化(地域活動、PTA等をボランティアのみに依存するには限界がある)。
- ボランティアは無償という考え方を無くしたい。せめて交通費を支給する等。
- どんなボランティアがあって人手不足はどこなのかなど。
- 全体的にボランティア(受け入れ)の組織数が少ないと思う。
- 参加しやすい呼びかけがあるとありがたい。

○解決策

- ☞ 介護施設にボランティア活動の協力はできると思う。
- ☞ 地域活動やボランティア活動の案内や募集はたくさんあると思うが、自身が積極的に見たり聞いたりして、自分の気持ちを強く持たなければ始まらないような気がする。

<町内会活動>

- 町内会役員の次の世代が育ってほしい。
- 現在どのような活動をしているのか、はっきり言って分からない。
- 集りは特定の人になり少数化。
- 将来考えると地元の町会、地域活動をする人がいない。行政の手助けが必要となる。
- お祭りやイベントに積極的に長く存続させようとする意識が高いのが小樽の良いところだと思います。

○解決策

- ☞ 地域参加(コミュニティーの参加)が気軽にできるようなイベント(講習)などがあれば気軽に参加しやすい。
- ☞ 高齢化と言いつつ、地域町内会活動では若者への負担が大きい。
- ☞ 地域で情報交換や話題にできる場所や時間が少しでもあると、参加しやすくなり、不安が少なくなると思う。
- ☞ 定年後にどのように自分が地域に関わっていけるのか、地域行事に参加するきっかけはどのように作るのか、わからない人が多いかもしれません。

<除雪>

- 冬の高校生の除雪ボランティアに助かっている。
- 道路への雪捨て禁止の周知徹底をしてほしい。
- 協働による雪かきボランティアの普及促進。
- 雪かきか買い物の荷物を持つのを手伝ってほしい。
- 除雪車の固い雪が玄関前等にあり、除雪するのに一苦労。又、捨てる場所がない。

<その他>

- 旭山展望台付近の林道沿いゴミがひどい!「不法投棄」。
- 何をしているのか、全くわからない。どこに問い合わせるのかもわからない。
- 地域に何を求めているのか行政がしっかり示すべきだ。
- 情報を常にチラシ等で分かりやすく提供できたらいい。

【道路・公園・公共施設】

<道路・坂・除雪>

- 道のデコボコが気になり、歩きが不安定で転びやすい。
- 街路樹の管理。落ち葉の処理に、毎年困惑している。
- 穴が開いたりひび割れしている道路が修復されない。
- 趣味でスポーツ自転車を使って走っているが、専用道路が狭い。
- 郊外のため道路脇にポイ捨てのゴミが多い。
- 道路沿いの雑草の刈り取りをしていないので、ポイ捨てされるのではないかと思う。
- 住民の道路への雪出しに対する市の対応(注意文書の配布など)が必要。

- ロードヒーティングをもう少し増やしてほしい。冬でも効いていない場所が多い。
- 春になり砂の回収、そうじをするのが遅い。
- せめて通学路だけでもしっかり除雪をしてほしい。

○解決策

- ☞ 道路舗装の改修箇所の巡回を定期的に行い、計画舗装を実施してほしい。
- ☞ 高齢者ドライバーの講習会の実施、免許返納後の移動手段の拡充。
- ☞ 排雪について一個人所有の空地进行を市が冬期借上げ排雪場所にしてはどうかと考える。

<公園>

- 小樽はトイレが少ないと思う。
- 遊具の老朽化。
- 駐車場ばかりで公園がない。空き地を雪捨て場としてほしい。
- 草の芝刈りの徹底。トイレの管理（トイレトペーパーがない、臭う）。
- 子どもが楽しく遊べる施設作りをしてほしい。
- 公園が近くにあるが、草刈の回数が少ない。市道であるが舗装が痛んでいる
- 子どもやお年寄りが集まれる大きな公園を作ったらよいと思う。
- 公園の再配置、利用されず荒廃した公園をどうするか。
- 公園によっては、遊具が充実していない地域や草刈りが不十分だったりしている。公園が遊具の多い公園を増やしてほしい。
- 車道と歩道の区別のためにもガードレールを付けてほしい。築港臨海公園が車中泊（キャンプ）場化しており、公園内の水道でシャワー・洗車をしている場面をよく見かけます。公園とは別に車中泊用の場所を作ってほしい。

○解決策

- ☞ 幼児も楽しめるようなお金をかけずに考えてほしいです。札幌の公園や、赤井川の道の駅のうらにある野原のようなのんびりしたものでいい。
幼児が気軽に行けるように。そして、駐車場がなければだめです。

<公共施設・公共設備・公共事業>

- 必要に応じて計画的に取組んで、皆が住みやすい街にしてほしい。
- 築港駅前のバス停の前にある歩道橋の老朽化が気になります。
- コミュニティバスを走らせてくれると便利。
- 廃校になった学校等で、観光向けの活動か、地元小樽の方が集まるマルシェ等を開催し、活用してほしい。
- 近所にコミュニティーセンターが出来てほしい。地域交流の場がない。

【健康・医療】

<健康>

- 定期健診の充実。各人がかかりつけ医を持てるように。

- 癌検診の助成を増やしてほしい。
- 喫煙率を減らす取組。スポーツに対する意識が低い～スポーツイベントの開催。
- 医療費をおさえるためにも、予防医療に力を入れてほしい。
- 健康講座、気軽に参加できる運動教室をどんどん企画してほしい。

<医療（病院・薬局）>

- 産婦人科（産科が特に）少ない。
- 車（マイカー）やバス、タクシーで街中まで行くのが大変。医療機関が近くにあると便利。
- 万一の時の対応する医療機関の周知。
- 日曜がん検診の地区の拡大・回数の増加など。
- 中央バスの病院前運行増加（乗り換えなしの運行）。
- 小児科が少なすぎる。産婦人科が少なすぎる。
- 主に産科医療を充実させるべき。
- 病院に託児が付いていたらいつでも思います。
- AED を会館などに置いてほしいと思います。

【防災】

<災害・避難>

- 災害時の避難場所がわからない。
- 防災マニュアルや、防災マナーなどのパンフレットが一家に一冊あると良い。
- 防災訓練を、地域でもなるべく全員参加できるイベントがあればよい。
- 火災訓練の定期的な実施。消火器の使い方の方法をそれぞれ覚えておく。
- 火事の知らせを市民に登録したらメールでどこが火事なのか教えてほしい。
- 防災訓練等一般住民にも義務づけるべき。
- ハザードマップも誰でもいつでもわかるようにするべき。
- ハザードマップの充実。（津波だけでなく土砂災害の必要）
- 防災無線設置希望。
- 防災用品の揃え方などを知らせる。パンフの配布など。
- 災害が発生した折の避難場場所もはっきりしていない。
- 近所に会館があるが指定されていないのでダメとか、足腰不自由の身の方が近くに避難する場合を考慮してほしい。近くの会館も開場した方が良いと思います。
- 1人で移動できない方がいる。（車イス・歩行困難者）
- 支援物資を配るといふ場所がわからない。どこに行っても良いか分からない。

<見守り>

- パトロールの強化（特に夜間）してほしいと思う。
- 台風等でブラックアウトなど高齢者の安否確認の連絡場所。

- カメラを増大せよ。公園など特に！

<その他>

- 電柱や電線の地中埋設案も実現できたら凄いなと思いました。

【防犯】

<安心・安全・不安・治安>

- 防犯として、地域パトロールを続けてほしい。
- 地域の防犯意識を向上できるように、特に夜は見回りをしてほしい。
- ほくとくんメールなどで知ることができ、とてもいいと思う。
- 外国人が増え、万引き・窃盗等が増えたように感じる。
- 不審者の出没。
- 特殊詐欺被害への更なる注意喚起。
- 警察にお願いして防犯の心構えの説明会を年一、二度してほしい。

<ボランティア・町内会・地域>

- 近隣在宅の声かけ。
- 見回りボランティアがいてくれたら安心。
- 小学校区単位であれば小さくまとまって活動が気軽に参加できるのではないか。
- 防犯の注意点などを区会で話しを聞くなどの事をすると良い。
- 行政指導のもとで町内ごとの防犯対策を考えるべきだ。

<防犯設備>

- 街灯が暗いと思う。防犯カメラの設置。パトカー巡回もふやしてほしい。
- 電気（外灯）のついてる電柱を増やしてほしい。
- JR朝里駅までの道が暗すぎる。

○解決策

- ☞ 防犯、監視カメラの設置。

【青年（ニート・引きこもり）】

<引きこもり>

- 青年（ニートや引きこもり）には、働けるように手助けとして、コミュニティづくりが大事だと考える。地域のコミュニティをつくることが大事。
- 水道屋さんとか電気さんは情報を得やすい。ニート、引きこもりをみるのではなく、彼らが小樽で就職し、生活していけるような職業教育、生活学習を重視してほしい。

○解決策

- ☞ ひきこもり・ニートの人達が働くところを考えたら良い。
- ☞ 人と接することが少ない朝刊配達とかは。

<相談・支援>

- ニート、引きこもりの人に対する職業体験の提案。声かけ。
- 相談窓口の強化。
- ニートの家族等の相談窓口をもっと増やし、相談しやすくすべき。
- ひきこもりたい理由を明確に聞き出してあげて、何ができるのか、本人とのコミュニケーションを取ってあげるべき。
- 本人が話し出せる環境を作り又は同じニートやひきこもりコミュニティを作り。
- 一人で悩まないで良い環境。少しずつでも社会に出て働いてほしい。
- 本人目線で楽しく集り、適性に併せ簡単な仕事や作業が出来るように、仕組と場所を見つけるか造ってあげることが大切。

○解決策

- ☞ 青年（ニートひきこもり）について病気を抱えると本当に嫌な目で見られたりして、ようやく出た就業意欲もひっこんでしまう。
- ☞ ハローワークの方々にはもう少しどうにかしてほしい。（病気の認識を増やす講習会を開くなど）
- ☞ 働く時間についても、フレックスタイムの導入や在宅勤務ができるよう市から企業へ働きかけてほしい。